

加東市地域公共交通網形成計画について

＜加東市地域公共交通網形成計画の構成案について＞

1. はじめに
 - (1) 計画策定の趣旨
 - (2) 計画策定の位置付け
2. 地域の現状等
 - (1) 加東市の地勢・地理
 - (2) 加東市の人口
 - (3) 加東市の産業
 - (4) 自動車保有台数
3. 上位関連計画の整理
 - (1) 加東市総合計画 後期基本計画
 - (2) 加東市都市計画マスタープラン
 - (3) 加東市公共施設の適正化に関する計画
 - (4) かとう未来総合戦略
4. 地域公共交通の現状
 - (1) 鉄道の現状
 - (2) 路線バスの現状
 - (3) 高速バスの現状
 - (4) 市町村運営有償運送の現状
 - (5) 福祉タクシー
 - (6) 利用者の意向等
5. 加東市地域公共交通の課題
6. より良いまちづくりと地域公共交通の基本方針
 - (1) まちづくりの将来ビジョン
 - (2) 地域公共交通の役割
 - (3) 地域公共交通の基本方針
7. 計画の区域
8. 計画の目標
9. 計画の目標を達成するために行う施策・実施主体
10. 計画の達成状況の評価
11. 計画期間

1. はじめに

1.1 計画策定の趣旨

加東市は、平成 18 年 3 月 20 日に加東郡 3 町（社町、滝野町、東条町）が合併して誕生した。その合併協議において提起された「地域内の公共交通の不便な環境をどうするのか」という重要課題に対し、平成 19 年 7 月に行政や交通事業者、市民の代表の方からなる「加東市地域公共交通会議」を組織し、コミュニティ交通サービスを含めた地域公共交通のあり方等について協議を行い、既存交通サービスを見直し、充実するとともに、生活交通手段を必要とする方へは、新たな交通手段として市町村運営有償運送事業に取り組むなど、地域公共交通の維持確保を図ってきた。

一方、平成 24 年 1 月に実施した加東市総合計画後期基本計画策定に関する市民アンケートに引き続き、平成 27 年 2 月に実施した計画推進に関するアンケートにおいても、公共交通は、施策の重要性が高い反面、満足度が低い結果となり、今後急速に進展していく少子高齢化に対して、公共交通空白地はもとより、日常の市民生活における移動手段をいかに確保していくかが重要な課題となっている。

国においては、平成 25 年に交通政策基本法が施行され、交通施策への基本理念とともに、国や地方公共団体等の責務が定められた。また、平成 26 年 11 月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律が施行され、ここには、地域公共交通が地域社会の活力を維持・向上させる役割を果たすために、地方公共団体が先頭に立って、地域の関係者との合意の下、まちづくりを踏まえた持続可能な地域公共交通ネットワークサービスを形成することの重要性が示されている。

このような状況を受け、加東市では、市内における公共交通の利便性の向上と、効率的で効果的な交通サービスの実現を目指すために、まちづくりとともに公共施設の適正化の取組を踏まえた「加東市地域公共交通網形成計画」を策定し、住みやすく、活力に満ちた地域社会の実現に取り組む。

本計画は「地域にとって望ましい地域公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものである。行政、市民、事業者が一体となった取組を計画的に進めることにより、限られた資源を有効に活用し、持続可能な地域公共交通網の形成を図る。

1.2 計画策定の位置付け

本計画は、加東市の総合計画を最上位計画とし、加東市都市計画マスタープラン、加東市公共施設の適正化に関する計画および加東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る計画を関連計画とした、加東市の公共交通政策の方向性等を定める基本計画である。

また、本計画は、交通政策基本法に基づき、市民及び事業者の参画と協働の下、近隣自治体及び関係機関等と連携しながら、公共交通の維持及び充実のための施策を総合的かつ計画的に推進するための計画になるものである。

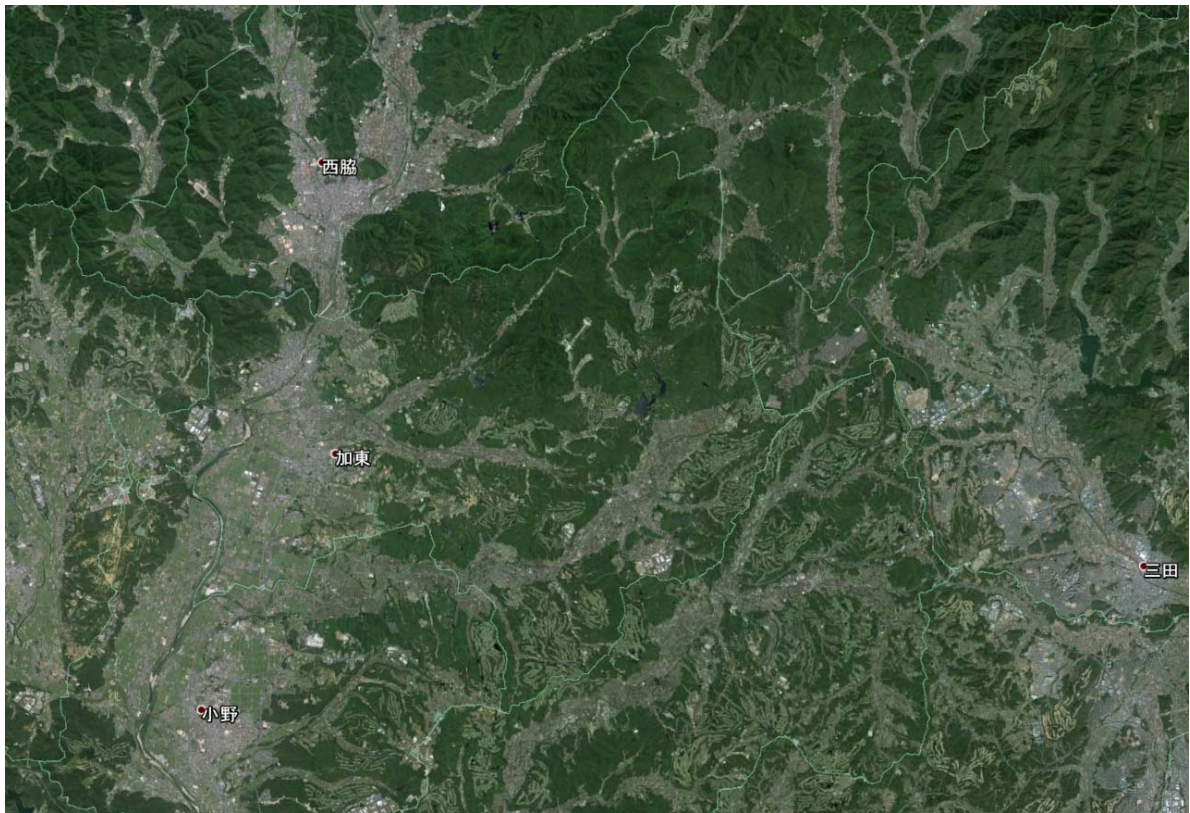
2. 地域の現状等

2.1 加東市の地勢・地理

加東市は、平成 18 年 3 月に加東郡 3 町社町・滝野町・東条町が合併して誕生した。人口は 40,181 人（平成 22 年国勢調査）、兵庫県中央部やや南よりに位置し、総面積は 157.55km² である。北部から北東部にかけて、中国山脈の支脈がのび、これに連なって御嶽山、源平古戦場三草山、五峰山などがある。また、加古川などの河川に沿って河岸段丘と沖積平野が形成されており、南部には嬉野台地、加古川右岸には青野ヶ原台地が広がっている。



図 兵庫県内の加東市の位置



出典：Google Earth

加東市の地勢

道路網は、市の東西を中国縦貫自動車道が通り、ひょうご東条インターチェンジと滝野社インターチェンジの 2 つの玄関口を有し、阪神地域と直結している。また、兵庫県の幹線道路である国道 175 号が南北を、国道 372 号が東西をつなぎ、物流の拠点となっている。

鉄道網は、市の西部を南北に JR 加古川線が通っており、山陽本線加古川駅と結ばれている。



出典：加東市 HP

図 加東市の交通網

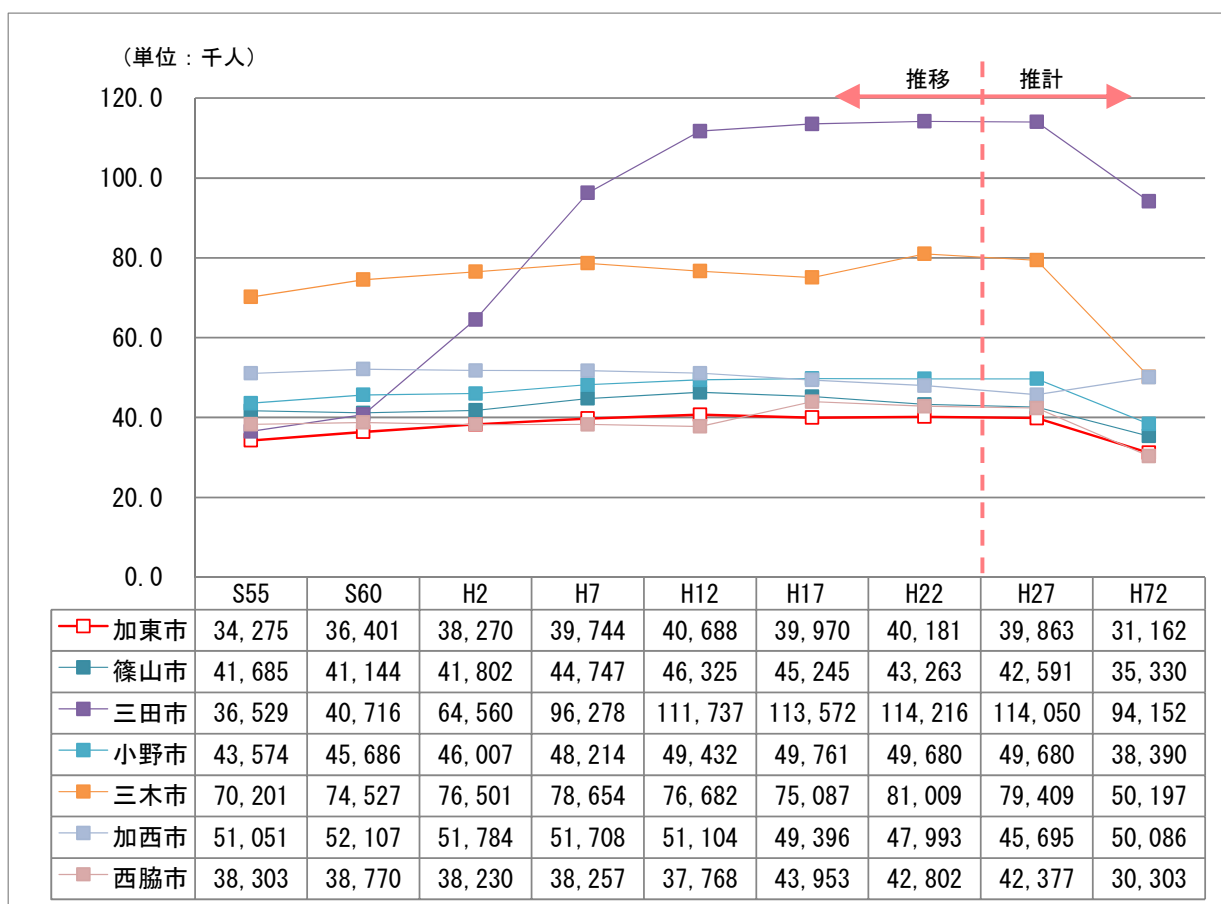
2.2 加東市の人口

2.2.1 人口

人口推移についてみると、加東市は平成 7 年から平成 27 年まで 40,000 人前後で推移しており、平成 17 年以降は微増の状況である。

隣接する周辺自治体のうち、小野市では、平成 7 年から約 48,000～49,000 人の人口を維持している。三田市では昭和 60 年から平成 12 年にかけて人口が 70,000 人以上増加している。一方で、篠山市・三木市・加西市・西脇市では、人口が減少傾向にある。

将来人口推計についてみると、加東市は平成 72 年には人口が 31,162 人に減少し、平成 22 年の約 77.5%になるとされている。



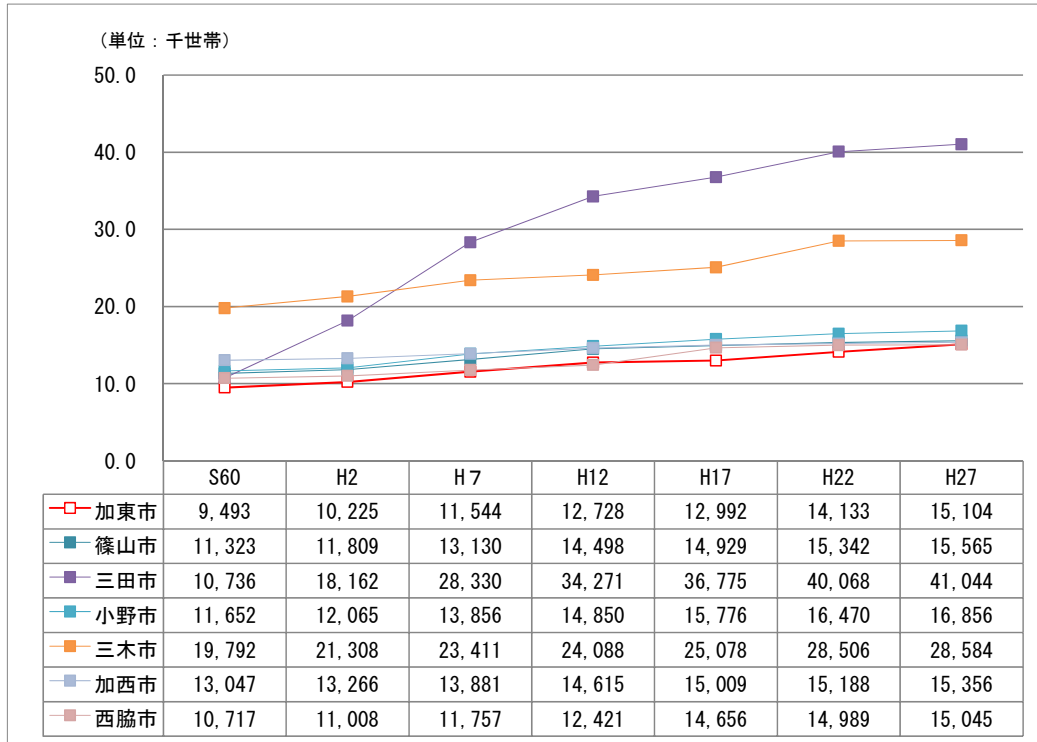
資料：国勢調査、各自治体人口ビジョン

図 加東市及び周辺自治体の人口推移

2.2.2 世帯数

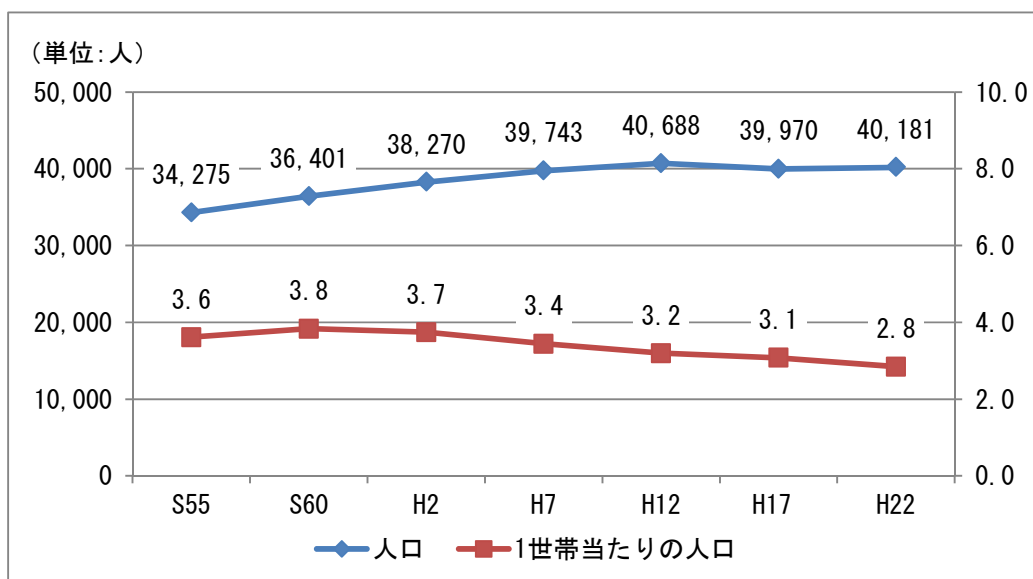
加東市の世帯数推移についてみると、昭和 60 年から増加し続けており、平成 27 年には約 15,000 世帯となっている。隣接する周辺自治体でも世帯数は昭和 60 年から増加し続けている。

また、加東市の 1 世帯当たりの人口の推移をみると、昭和 60 年の 3.8 人をピークに減少し、平成 22 年には 2.8 人となっている。



資料：国勢調査

図 加東市及び周辺自治体の世帯数の推移



資料：国勢調査

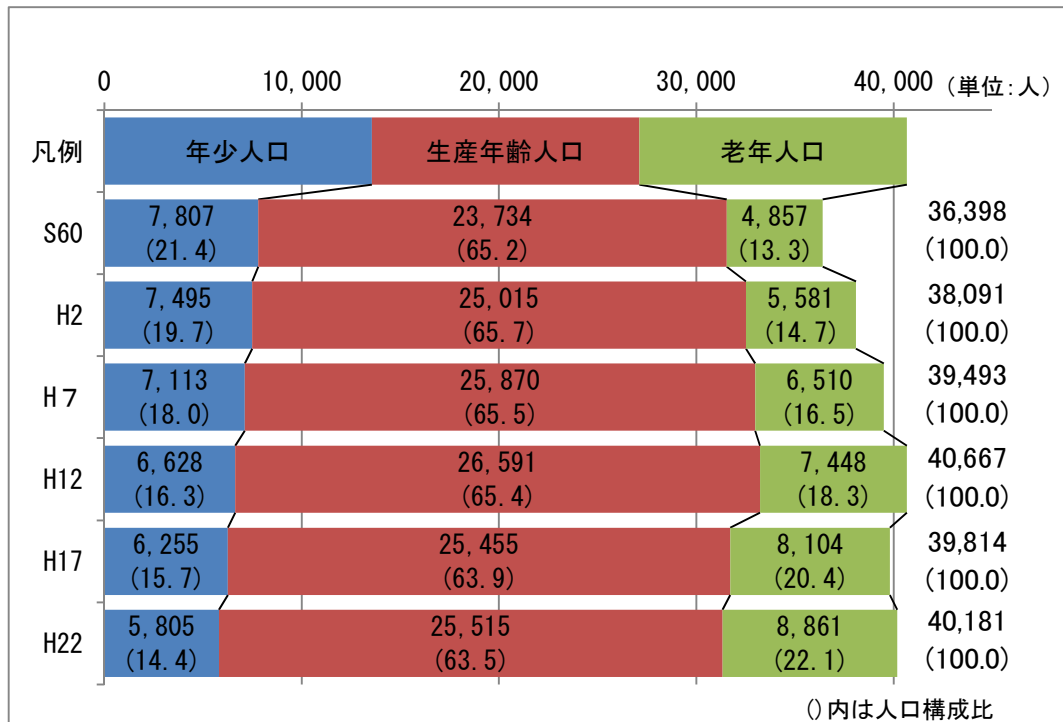
図 加東市の 1 世帯当たりの人口の推移

2.2.3 年齢3階層別人口

加東市の年齢3階層別人口の推移についてみると、昭和60年から平成22年までに年少人口が約7,800人から約5,800人に減少している。老年人口は昭和60年から平成22年までに約4,900人から約8,900人に増加している。

割合でみると、昭和60年から平成22年までに年少人口は約21%から約14%に減少し、老年人口は約13%から約22%に増加している。

加東市において、少子高齢化が進展しているといえる。



資料：国勢調査

図 加東市の年齢3階層別人口の推移

《参考》年齢3階層別人口

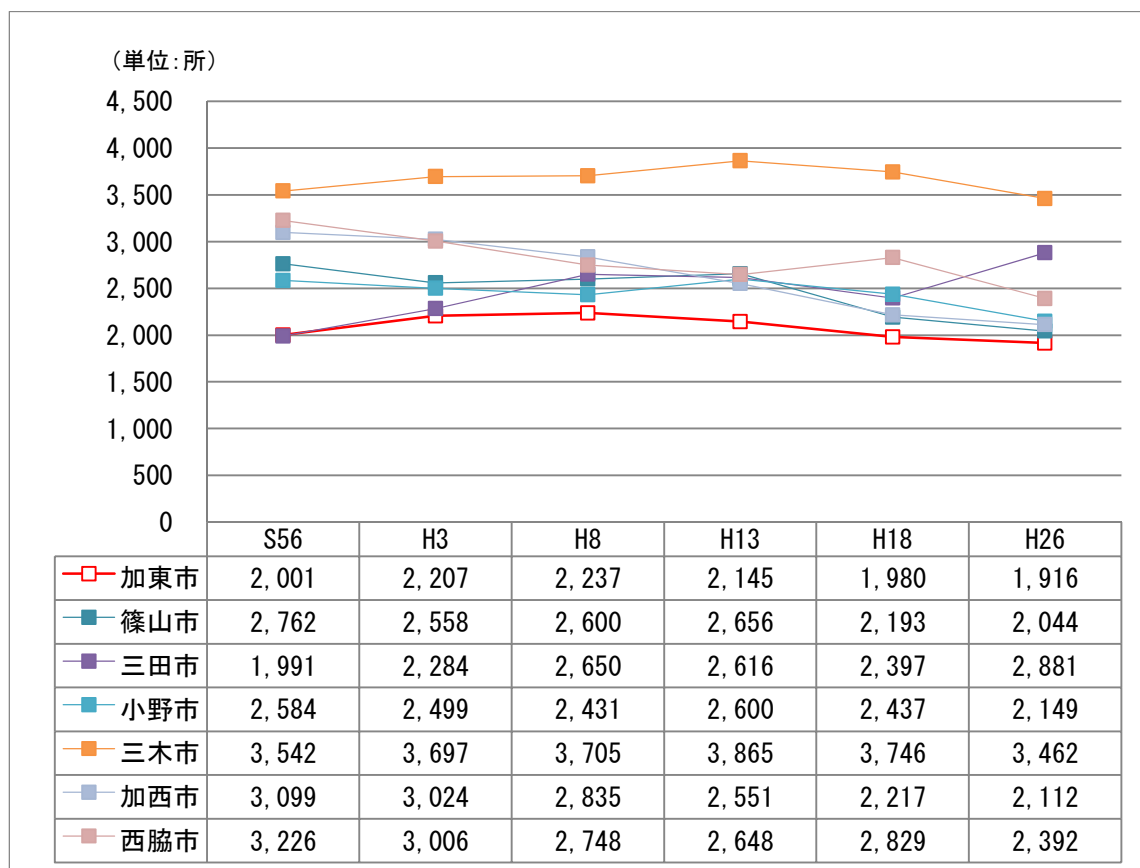
年齢構造を3階層に区分したものである。若い方から順に、年少人口・生産年齢人口・老年人口としている。年少人口は0～14歳人口、生産年齢人口は15～64歳人口、老年人口は65歳以上人口を指す。

2.3 加東市の産業

2.3.1 事業所

加東市の事業所数の推移についてみると、平成8年の2,237所をピークに減少しており、平成26年には1,916所となっている。

隣接する周辺自治体についてみると、三田市では平成18年から平成26年に2,397所から2,881所には増加しているが、篠山市・小野市・三木市・加西市・西脇市では、減少傾向にある。

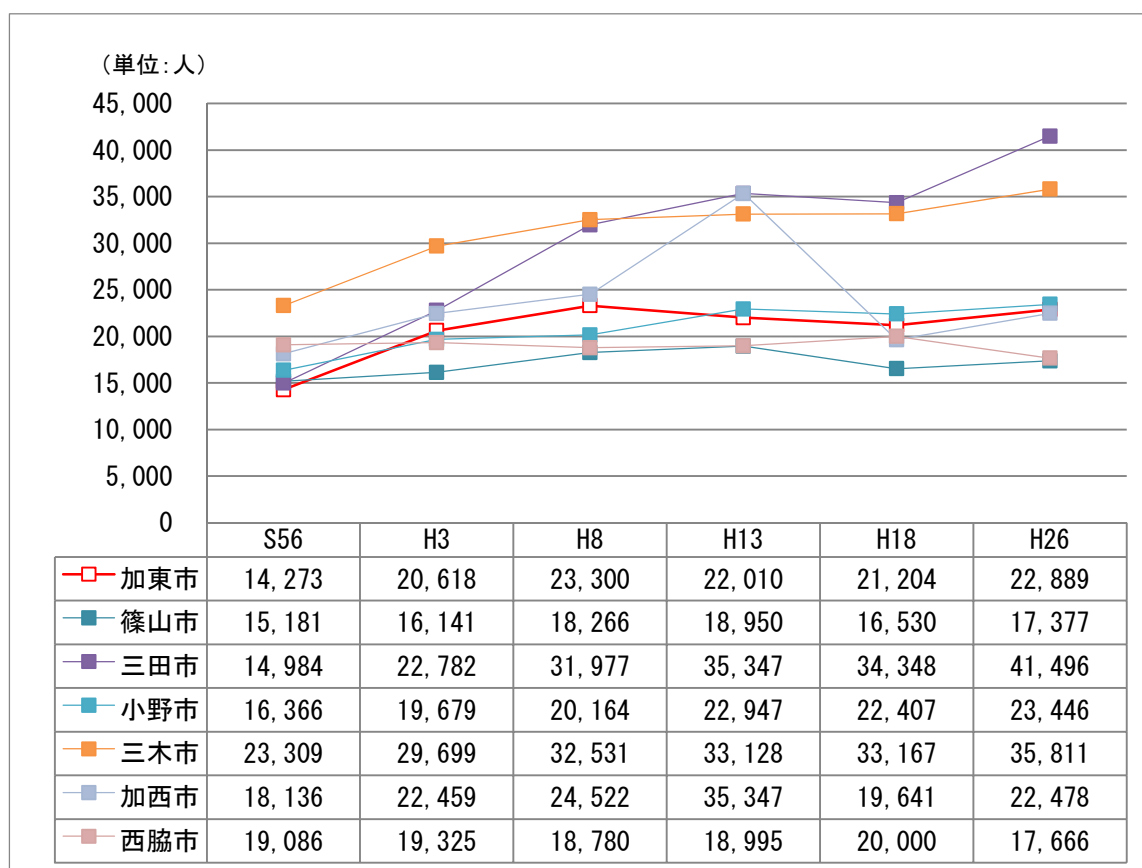


資料：事業所統計調査・経済センサス

図 事業所数の推移

加東市の事業所の従業者数の推移についてみると、平成8年の23,300人をピークにいったん減少したが、平成26年には22,889人となっており、全体的にみると横ばいであるといえる。

隣接する周辺自治体についてみると、三田市・三木市では、従業員数が増加しているが、西脇市では減少している。その他の篠山市・小野市・加西市ではほぼ横ばいである。



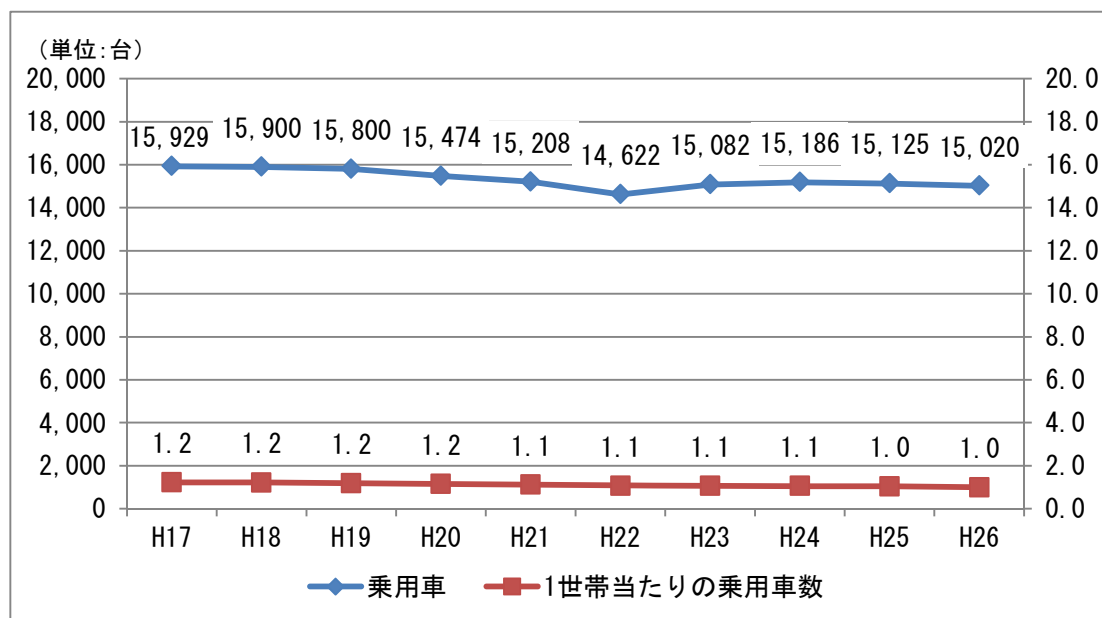
資料：事業所統計調査・経済センサス

図 事業所の従業員数の推移

2.4 自動車保有台数

加東市の自動車保有台数は平成 17 年には約 16,000 台であったが、以降緩やかに減少し、平成 22 年以降は約 15,000 台で推移している。

1 世帯当たりの乗用車数は、約 1.0～1.2 台となっている。



資料：加東市資料

図 加東市内の自動車保有台数及び1世帯当たりの乗用車数

3. 上位関連計画の整理

3.1 加東市総合計画 後期基本計画（平成 25 年度～平成 29 年度）

加東市では、平成 20 年度から平成 29 年度までの 10 年間について基本構想を定め、基本構想の実現に向けて 7 つの政策を設けている。交通分野は、政策Ⅴ『快適』暮らしと憩いが響きあう心地よいまち」に位置付け、路線バスなどの公共交通機関の利便性が向上するとともに、地域の実情やニーズに応じた交通移動手段が、地域ぐるみの主体的な取組により確保されることを将来あるべき姿としている。

市の取組として、周辺市町と連携しながら、JR 加古川線をはじめとした公共交通機関の利用を促進するとともに、民間事業者と協力して既存バス路線を維持し、利便性向上に取り組むこととしている。

また、子ども、高齢者、障害者など交通弱者の移動手段の確保について、自主運行バスやスクールバスなど新たな交通システムの導入を検討し、また、公共交通空白地での交通弱者の移動環境整備に向けた地域ぐるみの主体的な取組を支援することとしている。

施策によって目指すまちづくりの目標（政策）

政策Ⅰ『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち

政策Ⅱ『安全』人と自然が調和した 安全なまち

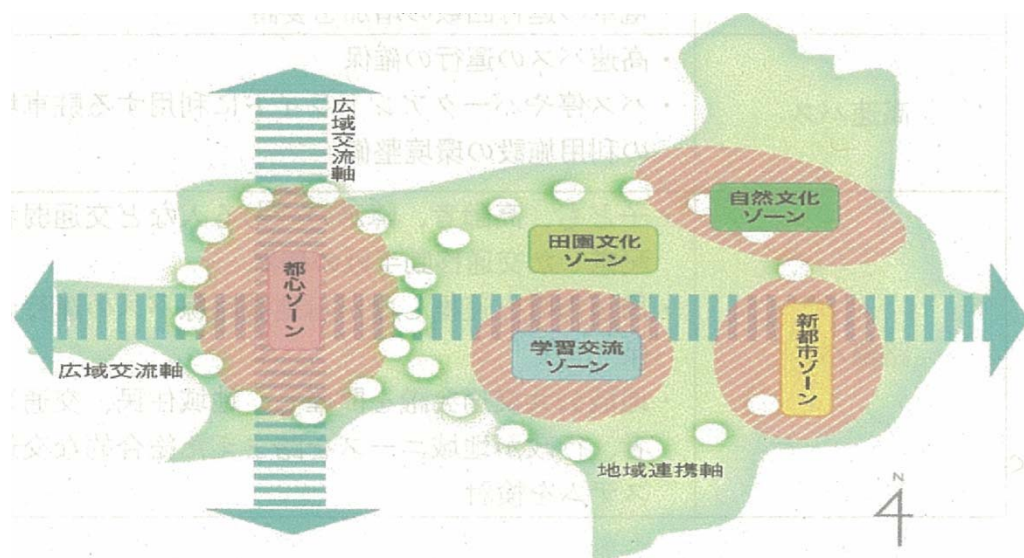
政策Ⅲ『安心』健やかで心がふれあう やさしいまち

政策Ⅳ『活力』魅力ある資源を活かした 誇りのもてるまち

政策Ⅴ『快適』暮らしと憩いが響きあう 心地よいまち

政策Ⅵ『協働』多様なきずなが織りなす 協働のまち

政策Ⅶ『実現にむけて』まちづくりの目標を支える自主自律の行政経営



資料：「加東市総合計画」

図 都市構造図

3.2 加東市都市計画マスタープラン（平成 21 年度～平成 40 年度）

加東市では、「快適で暮らしやすいまち～多様な都市機能と豊かな自然環境を活かしたまちづくり」を実現するために、5つの基本理念を設定している。

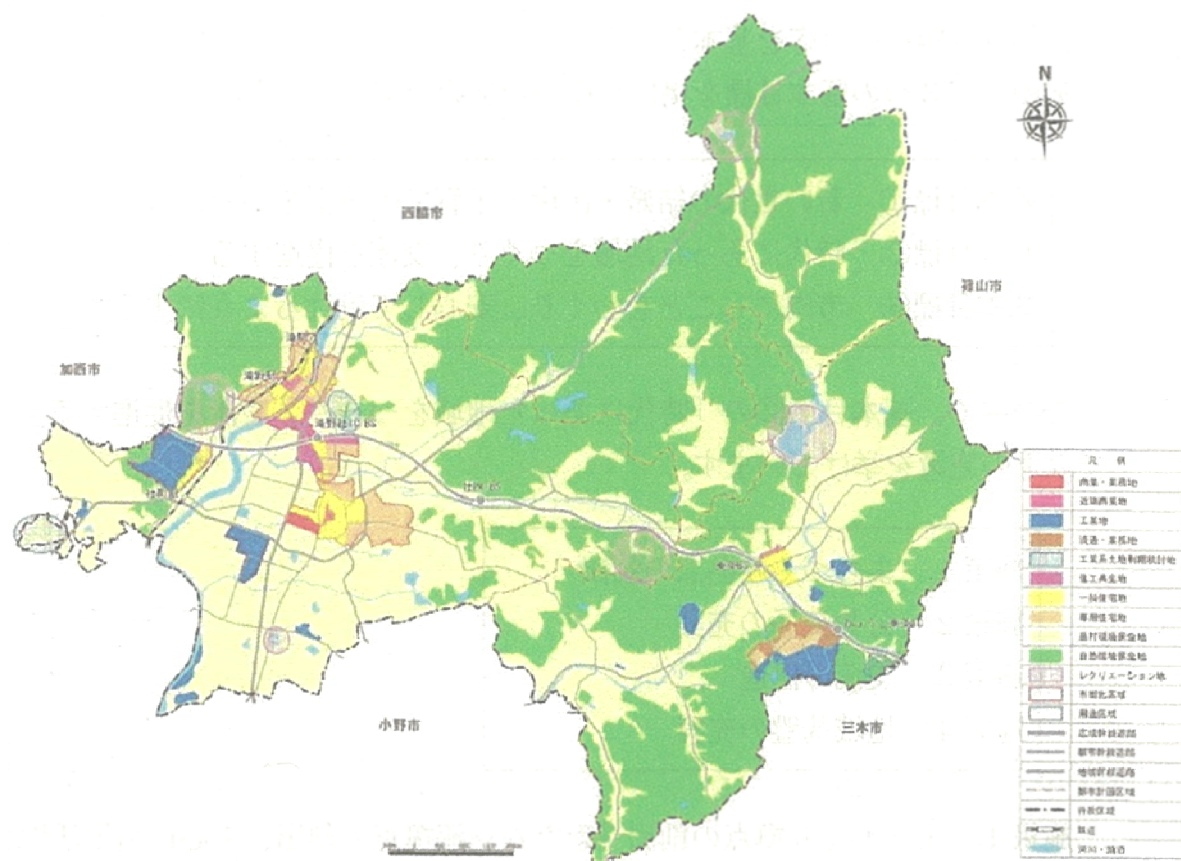
まちづくりの基本理念

- ①『土地利用』 明るく元気で活力ある市街地の形成と都市と自然が調和した土地利用の推進
- ②『都市施設』 人にやさしく、みんながふれあう、住み心地のよい住環境づくり
- ③『都市環境・自然環境』 水と緑、歴史を活かしたうるおいとやすらぎ空間の創造
- ④『産業振興』 暮らしを支え、活力をもたらす産業の振興
- ⑤『地域協働』 自らが守り育てる地域づくり

中国縦貫自動車道と国道 175 号が交差する地域一帯を都心拠点とし、また旧東条庁舎周辺を地域生活拠点、ひょうご東条ニュータウンインターパークを新都市拠点と位置付け、それらの拠点を道路網、公共交通等で結ぶことにより、連携強化を図った都市構造を目指している。

公共交通機関の整備方針としては、鉄道、高速バス、路線バスの内容について以下のように定めている。

公共交通機関種別	整備方針
鉄道	・ JR 加古川線の各駅において、駅舎や関係施設のバリアフリー化の促進 ・ パークアンドライドに利用する駐車場や駐輪場の充実 ・ 電車の運行回数の増加を要請
高速バス	・ 高速バスの運行の確保 ・ バス停やパークアンドライドに利用する駐車場等の利用施設の環境整備
路線バス	・ 子ども、高齢者、障がいのある人など交通弱者に配慮した交通移動手段の確保 ・ 周辺市町と連携しながら地域路線バスの運行の確保 ・ 地域公共交通会議を開催し、地域住民、交通事業者、行政が地域ニーズを踏まえた総合的な交通システムを検討



資料：「加東市都市計画マスタープラン」

図 土地利用方針図

3.3 加東市公共施設の適正化に関する計画

基本方針では、公共施設の適正化を進めるに当たっては、施設単体の老朽度や効率性をしっかりと見定めるとともに、施設全体を視野に入れ、今後提供するサービスの必要性や内容も考えながら進めることとしている。

その中で、公共交通サービスの充実については、公共施設の統廃合等が進んだ場合、市民の生活交通体系が大きく変化するため、施設間の距離や交通の利便性等を勘案し、公共施設の適正化とあわせて公共交通サービスの充実を推進することとしている。

小中学校については、社地域、滝野地域、東条地域の各地域において、小中一貫教育を推進するため、小中一貫校を開設し、整備することによって生じる通学距離などの通学環境の変化については、スクールバスなどを含めた公共交通の取組の中で対応することとしている。

3.4 かとう未来総合戦略

加東市人口ビジョンでは、出生率の上昇、社会増減の均衡により、2040年に35,700人程度（2015年比0.9%）の人口を維持することを目標に掲げている。

また、そのための基本方針として、加東市の良いところ（強み）を伸ばす地域づくりと人口減少に伴う課題への対応を基本とし、3つの基本目標と各目標を達成するための具体的な施策を挙げている。

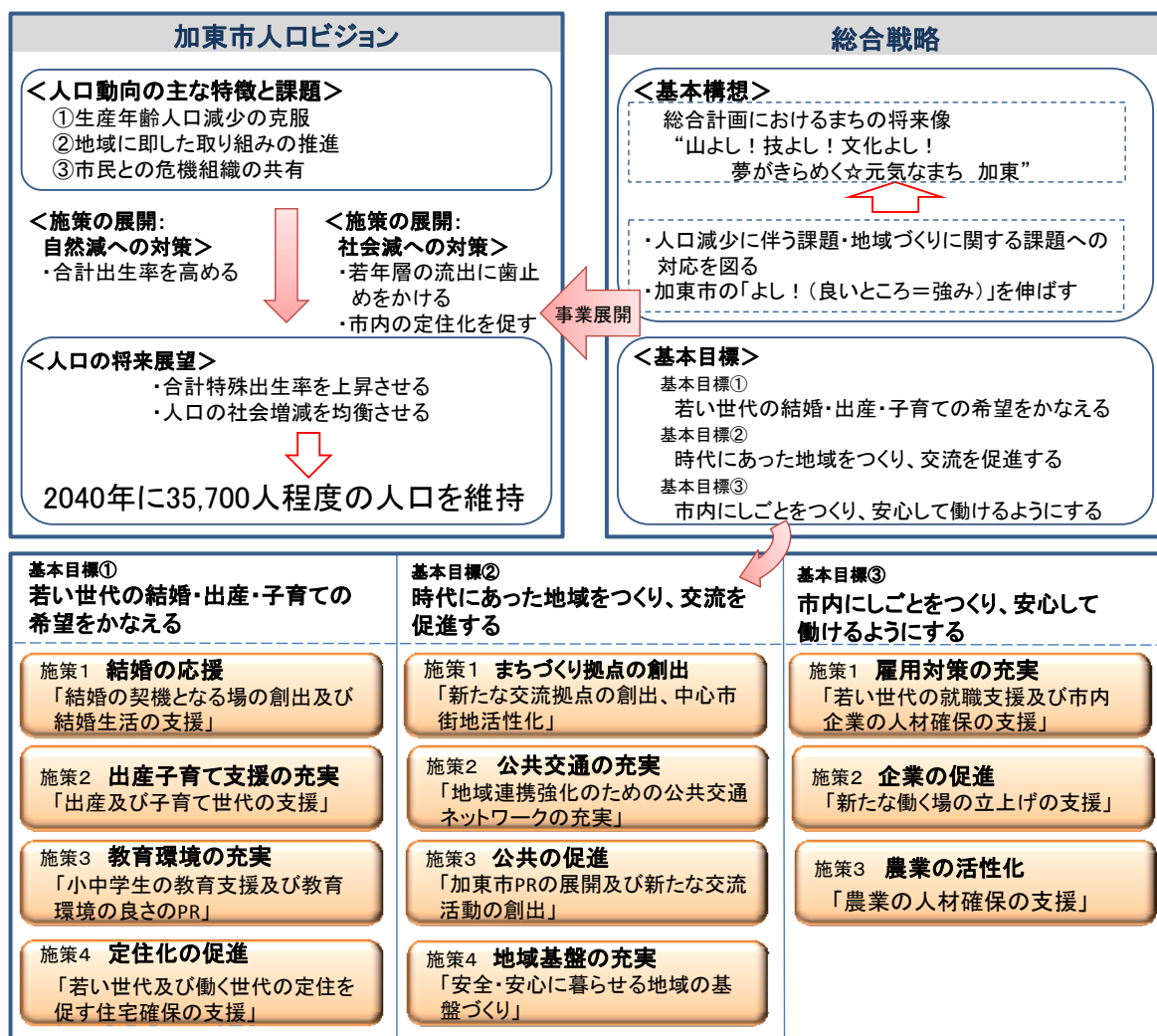


図 加東市人口ビジョン及びかとう未来総合戦略の相関

この中で基本目標②の「時代にあった地域をつくり、交流を促進する」において4つの施策を挙げており、その中で交通に関する施策として以下の施策を挙げている。

施策1 まちづくり拠点の創出「新たな交流拠点の創出、中心市街地活性化」

①賑わい拠点づくり作戦

市内の主要商業施設やしろショッピングパーク Bio は、施設の老朽化、競合する大型商業施設立地などにより賑わいが低下しています。このため、中心市街地の活性化の核となる新たな交流拠点の創出に向けた再整備を実施します。

②地域拠点づくり作戦

市内の交流を拡大するためには、地域における拠点の活性化が望まれます。このため、市の東西における既存ストックの有効活用による活性化や交通拠点と連携した観光・交流拠点づくりを実施します。

施策2 公共交通の充実「地域連携強化のための公共交通ネットワークの充実」

①公共交通リニューアル作戦

路線バスは車を使えない人にとって不可欠な生活交通手段であるとの認識の下、まちづくりや観光振興等と連動した公共交通の再編を実施します。

②パーク＆ライド推進作戦

JR 加古川線や高速バスを使えば大阪や神戸へのアクセスの良い恵まれた交通環境にあります。この交通環境を活かした公共交通の利用促進を「パーク＆ライド推進作戦」として実施します。

4. 地域公共交通の現状

4.1 鉄道の現状

4.1.1 概要

市の西部を南北に JR 加古川線が通っている。市内に「社町駅」「滝野駅」「滝駅」の 3 駅があり、南は山陽本線加古川駅と、北は福知山線谷川駅と結ばれている。

交通事業者：西日本旅客鉄道株式会社(3 駅)



図 社町駅



図 滝野駅



図 滝駅

出典：JR 西日本 HP

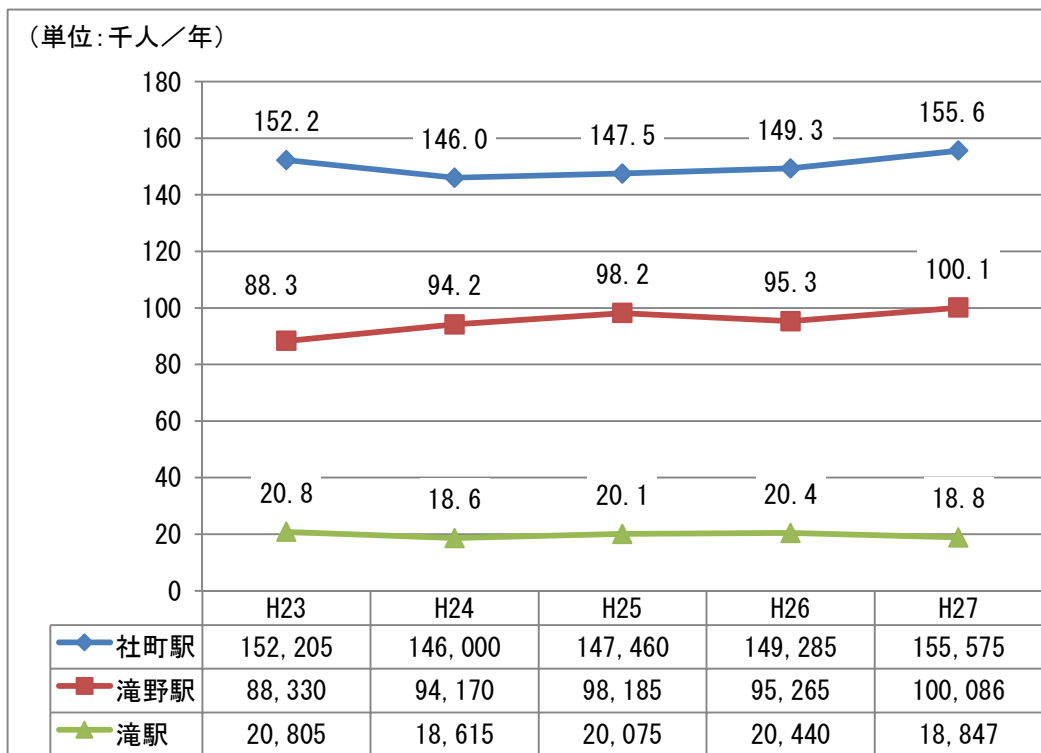
4.1.2 利用者数

加東市内の社町駅・滝野駅・滝駅の年間乗車人数についてみると、社町駅が最も多く、平成 27 年は 155,575 人となっている。次いで、滝野駅は平成 27 年には 100,086 人となっている。滝駅は年間乗車人数が少なく、平成 27 年には 18,847 人となっている。

社町駅では、平成 23 年から平成 24 年にかけて、利用者数が 152,205 人から 146,000 人に減少したが、平成 27 年には増加に転じ、155,575 人となっている。

滝野駅は平成 23 年から利用者数が概ね増加しており、平成 23 年には 88,330 人であったが、平成 27 年には 100,086 人となっている。

滝駅は平成 23 年から利用者数が概ね 20,000 人前後で推移している。



資料：加東市資料

図 加東市内の鉄道駅の年間乗車人数

4.1.3 運行本数

運行本数についてみると、平日は栗生・加古川方面及び西脇市・谷川方面合せて、38 本/日運行している。朝夕のピーク時には複数本数運行している時間帯があるが、ピーク時間帯以外は各方面に 1 本/時の運行となっている。

休日は栗生・加古川方面及び西脇市・谷川方面合せて、37 本/日運行している。休日についても、朝夕のピーク時には複数本数運行している時間帯があるが、ピーク時間帯以外は概ね各方面に 1 本/時の運行となっている。

表 各駅の運行本数

		社町駅			滝野駅			滝駅		
		栗生・加古川方面	西脇市・谷川方面	計	栗生・加古川方面	西脇市・谷川方面	計	栗生・加古川方面	西脇市・谷川方面	計
平日	5時台	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	6時台	2	1	3	2	1	3	2	1	3
	7時台	2	2	4	2	1	3	2	1	3
	8時台	1	1	2	1	2	3	1	2	3
	9時台	1	1	2	1	0	1	1	0	1
	10時台	1	0	1	1	1	2	1	1	2
	11時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	12時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	13時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	14時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	15時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	16時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	17時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	18時台	1	1	2	1	1	2	0	1	1
	19時台	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	20時台	1	1	2	1	1	2	2	1	3
	21時台	2	1	3	1	1	2	1	1	2
	22時台	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	23時台	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	計	20	19	39	19	19	38	19	19	38

		社町駅			滝野駅			滝駅		
		栗生・加古川方面	西脇市・谷川方面	計	栗生・加古川方面	西脇市・谷川方面	計	栗生・加古川方面	西脇市・谷川方面	計
休日	5時台	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	6時台	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	7時台	2	1	3	3	1	4	2	1	3
	8時台	2	2	4	1	1	2	2	1	3
	9時台	1	1	2	1	2	3	1	2	3
	10時台	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	11時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	12時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	13時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	14時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	15時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	16時台	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	17時台	0	1	1	1	1	2	1	1	2
	18時台	1	1	2	1	1	2	0	1	1
	19時台	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	20時台	1	1	2	1	1	2	2	1	3
	21時台	2	1	3	1	1	2	1	1	2
	22時台	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	23時台	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	計	18	19	37	18	19	37	18	19	37

※赤色の網掛けは 1 時間当たりの運行本数が 3 本以上の時間帯

資料：JR 西日本 HP

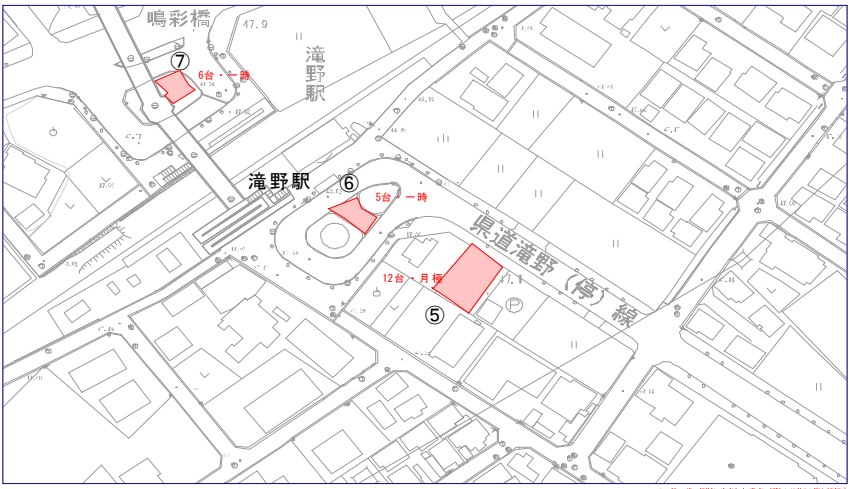
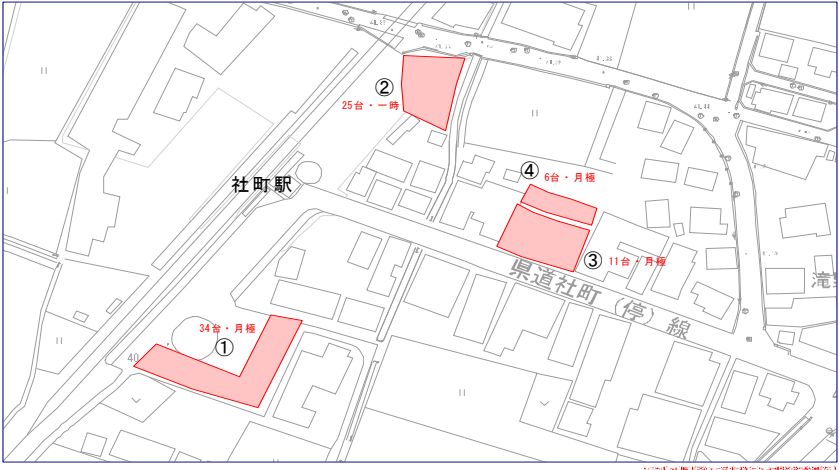
4.1.4 駐車場設置状況

鉄道駅周辺には駐車場を7箇所、計99台分が整備されている。

表 駅周辺の駐車場設置状況

	箇所	番号	種別	区画数	利用数	設置者
JR駅	社町駅周辺	①	月極	34台	29台	加東市
		②	一時	25台	22台	加東市
		③	月極	11台	7台	民間
		④	月極	6台	3台	民間
	滝野駅周辺	⑤	月極	12台	約6台	民間
		⑥	一時	5台	5台	加東市
		⑦	一時	6台	6台	加東市
合計				99台	78台	

資料：加東市資料



資料：加東市資料

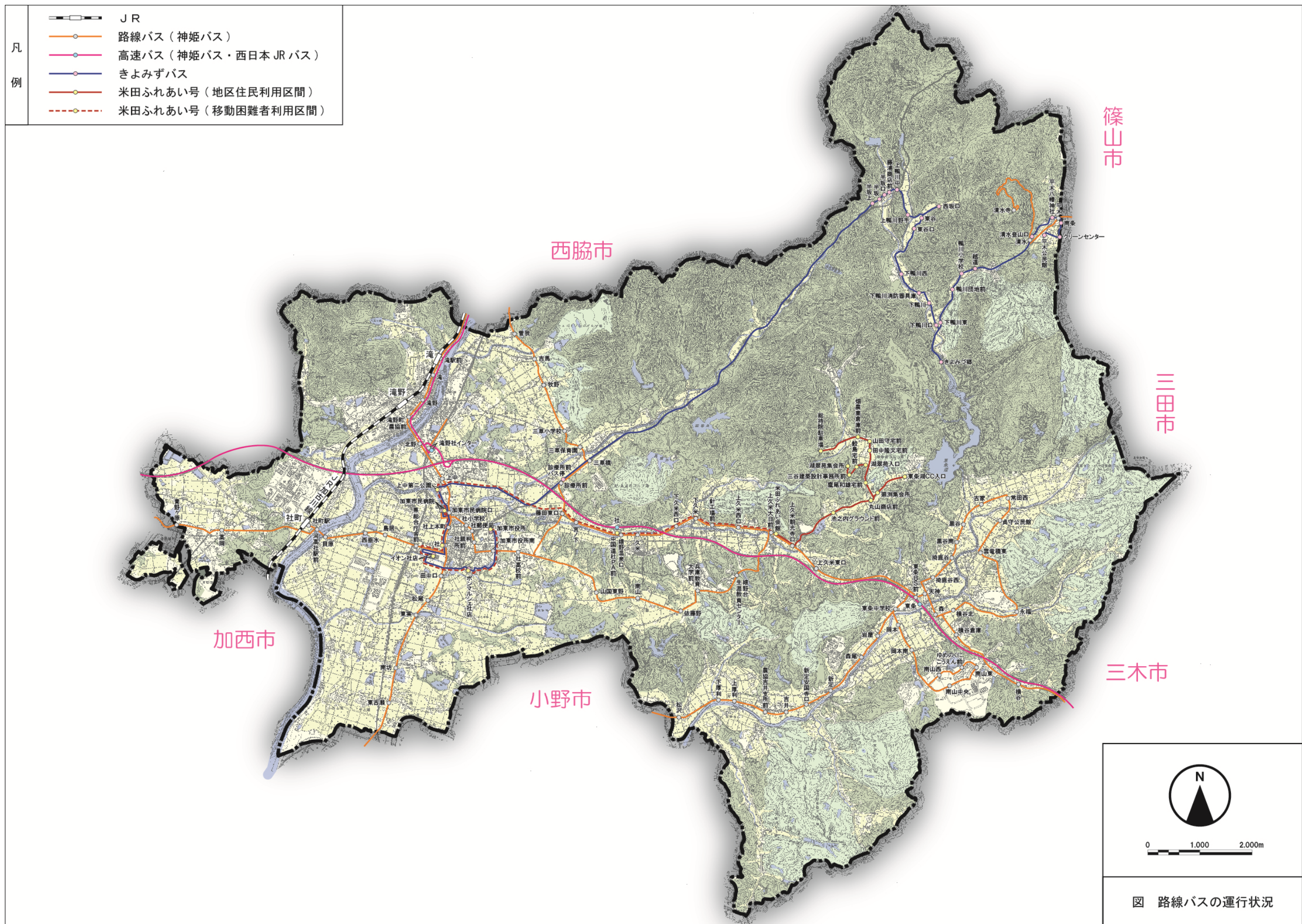
図 駅周辺の駐車場設置箇所

4.2 路線バスの現状

4.2.1 路線の配置状況

加東市の路線バスの路線網は次項の図のとおりである。

路線バスは、市内での完結路線だけでなく、近隣の西脇市や三田市をはじめ神戸市や姫路市方面とも結ばれている。また、29ページの図は、人口分布とバス停の配置状況を示す。バス路線は比較的人口が多い地域や施設が配置されている地域で運行されているが、人口の少ない地域についてもバス停は設置されている。その中で、社営業所は、広域幹線路線をつなぐ主要な交通結節点としての役割を担っている。



凡 例	【路線バス】	
		社～アステシアさかい アステシアさかい～社～嬉野台生涯教育センター
		社～別府～姫路駅北口
		社～一乗寺～姫路駅北口
		社～三木～明石駅 三木～社
		電鉄小野駅～鹿野～松沢～(南山)～天神～(常田西)～天神
		高速バス(神姫バス・西日本JRバス)
		J R

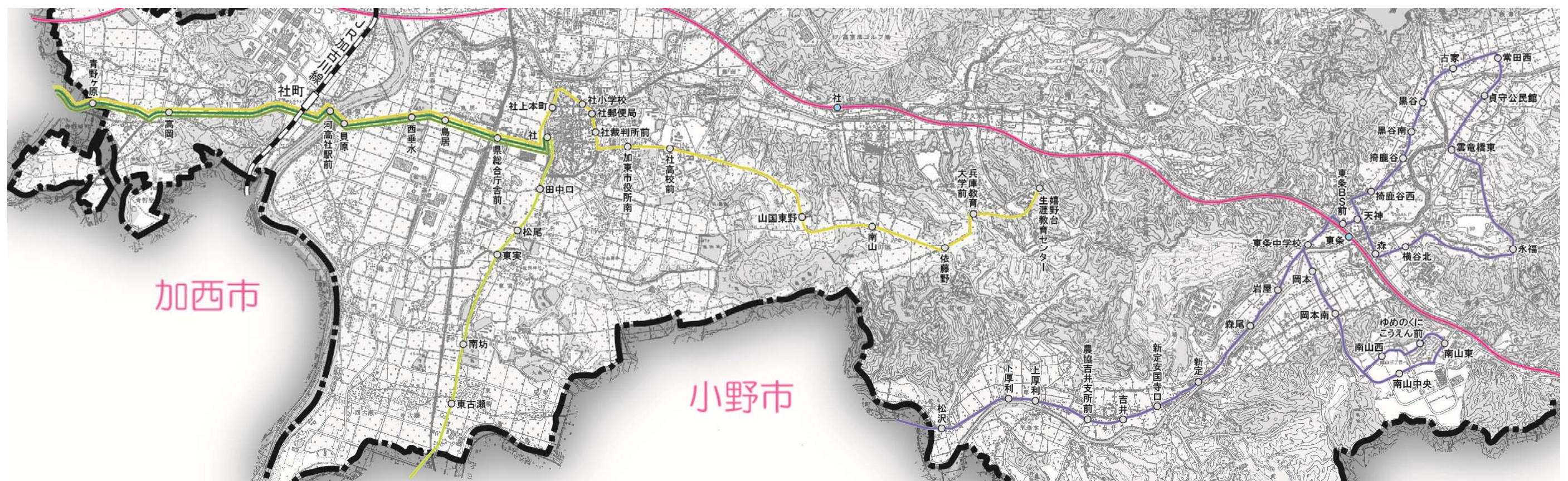


図 加東市のバス路線網（１）

凡 例	【路線バス】	
		社～社高校・天神・渡瀬～三田駅 社～社高校・天神～渡瀬 社～社高校～天神
		社～加東市民病院・社高校・天神・渡瀬～三田駅
		社町駅～社～嬉野台生涯教育センター～天神・渡瀬～三田駅
		高速バス（神姫バス・西日本JRバス）
		J R

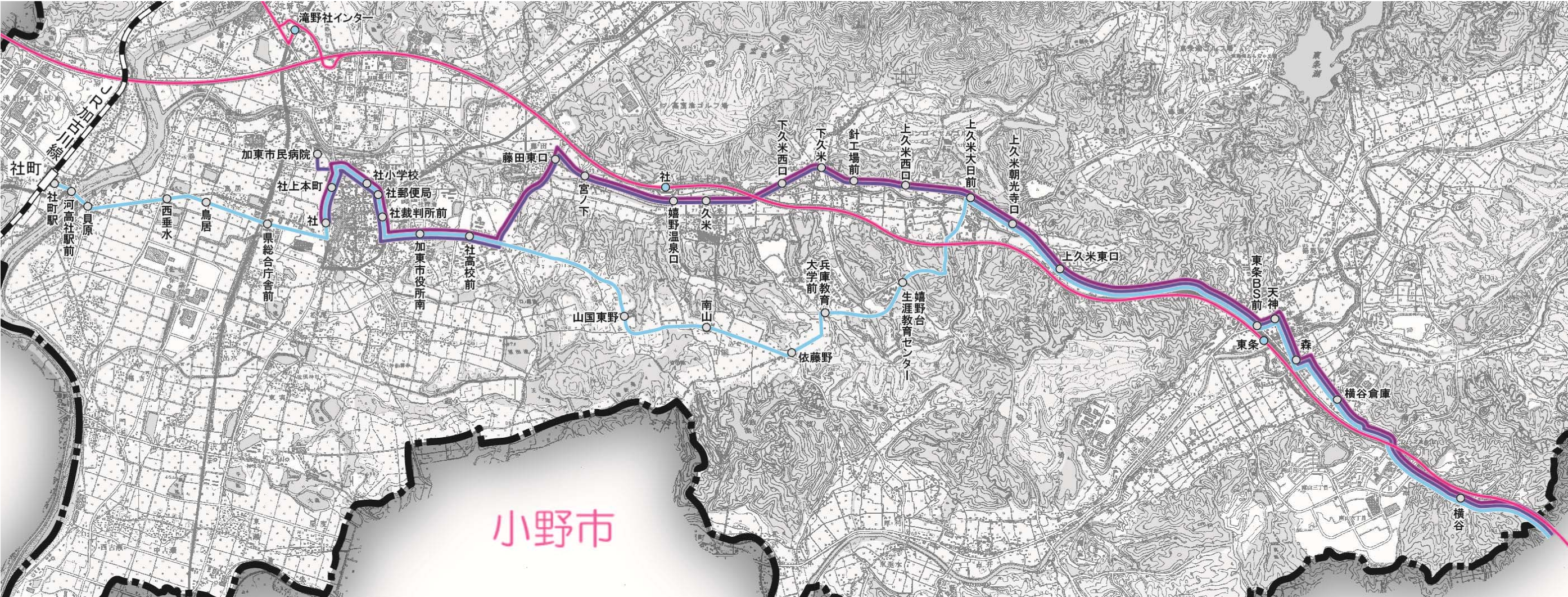


図 加東市のバス路線網（3）

凡 例	【路線バス】	
		西脇営業所～三草・社高校～社
		西脇営業所～三草・社高校・加東市民病院～社 西脇～三草・社高校・加東市民病院～社
		(急行) 西脇営業所～御坂・新神戸～三宮 (急行) 社～御坂・新神戸～三宮 西脇営業所～社
		<中国ハイウェイバス> (急行) 津山駅・アスティアさかい・西脇営業所 ～滝野社 I.C. ～新大阪～大阪駅
		西脇グリーンバス路線
		電鉄小野駅～社 電鉄小野駅～社～三草～西脇
		高速バス(神姫バス・西日本JRバス)
		J R
		

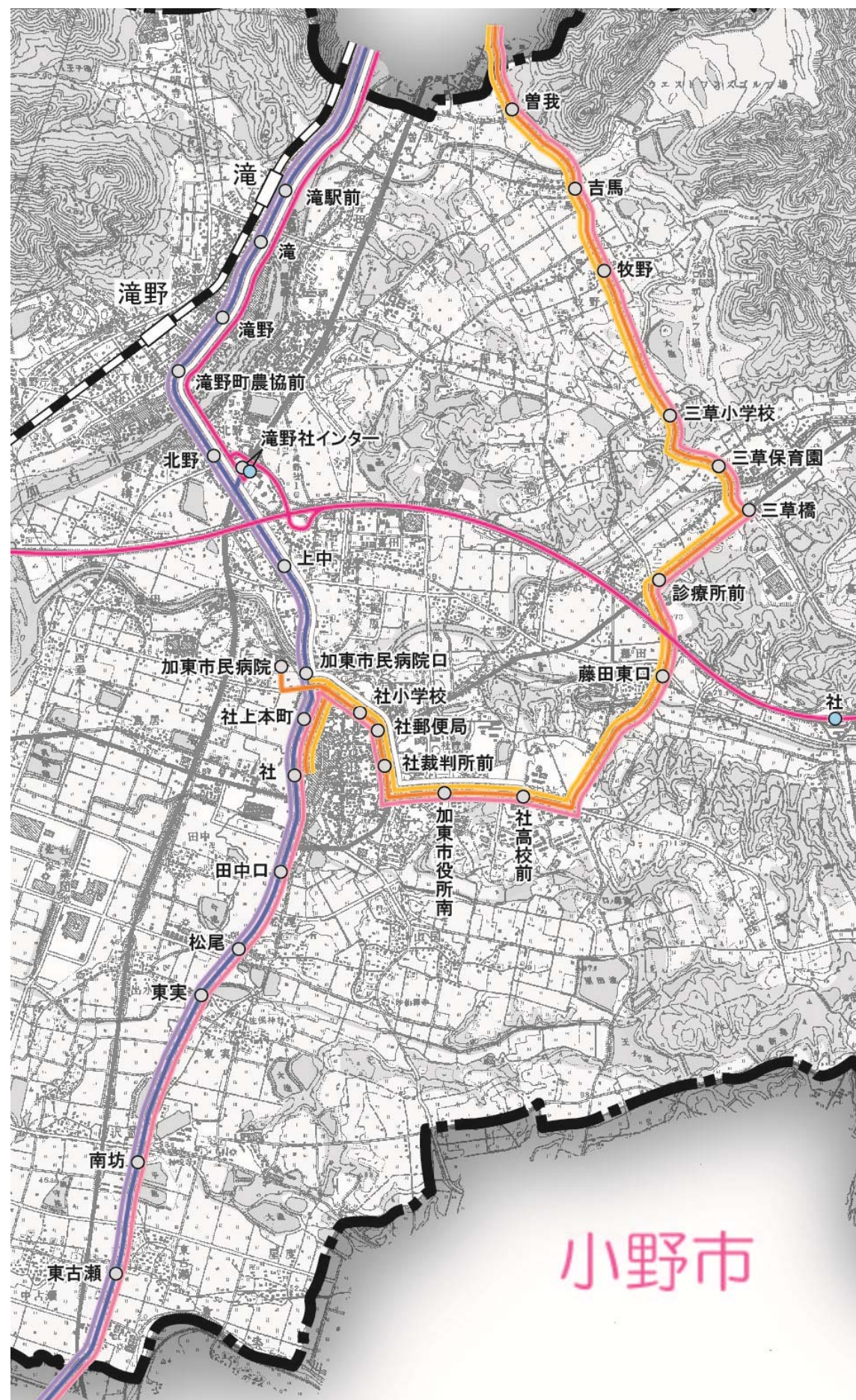
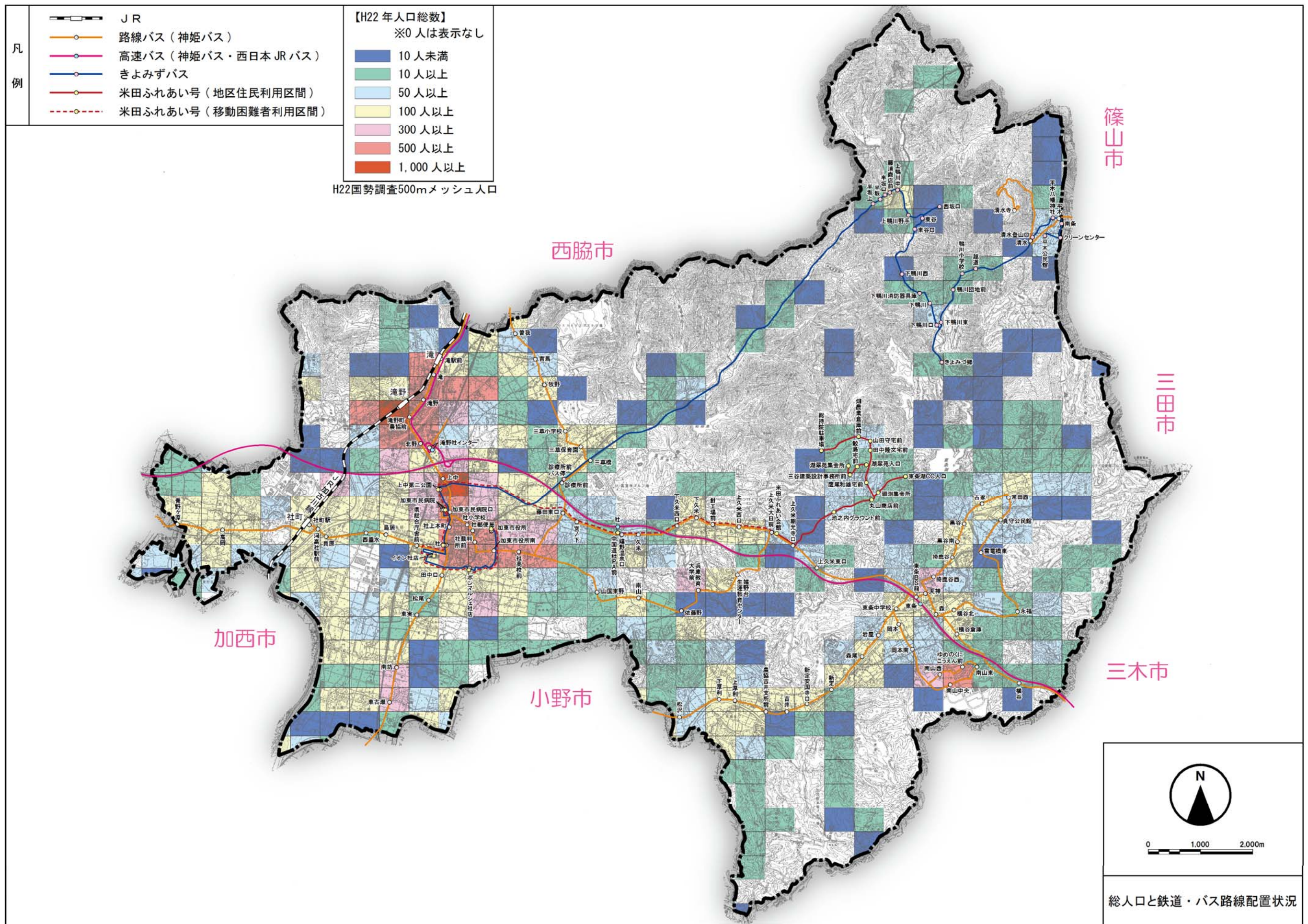


図 加東市のバス路線網 (4)



4.2.2 停留所別乗降者数

停留所別の1日あたりの乗降車数についてみると、社停留所が461.1人/日、社高校前停留所が341.1人/日となっている。市内の乗降車の大半が2停留所で行われていることが分かる。また、市内の停留所の概ね半数は1日当たりの乗降車数が1人以下となっている。

表 市内の路線バス停留所の乗降車数

停留所名	乗車数 (人/日)	降車数 (人/日)	乗降車数 (人/日)	停留所名	乗車数 (人/日)	降車数 (人/日)	乗降車数 (人/日)
社	240.1	221.0	461.1	西垂水	0.6	0.9	1.4
社高校前	164.9	176.3	341.1	貝原	0.0	1.0	1.0
社町駅	36.1	21.9	58.0	森尾	0.4	0.6	1.0
天神	19.6	14.9	34.4	藤田東口	0.9	0.1	1.0
兵庫教育大学前	11.0	23.4	34.4	上厚利	0.9	0.1	1.0
南坊	12.7	8.7	21.4	牧野[加東]	0.0	0.7	0.7
滝野町農協前	9.3	7.0	16.3	依藤野	0.1	0.6	0.7
上中	7.4	6.6	14.0	三草小学校	0.6	0.0	0.6
東古瀬	6.1	6.7	12.9	三草保育園	0.4	0.0	0.4
県総合庁舎前	5.7	6.1	11.9	針工場前	0.3	0.1	0.4
北野[滝野]	6.3	4.9	11.1	下厚利	0.0	0.4	0.4
滝野	4.6	6.3	10.9	嬉野温泉口	0.0	0.4	0.4
加東市民病院口	6.4	4.1	10.6	滝駅前	0.1	0.1	0.3
社上本町	3.9	5.0	8.9	吉馬	0.1	0.1	0.3
加東市役所南(嬉野住宅前)	4.3	4.6	8.9	三草橋	0.1	0.0	0.1
社郵便局前	2.9	4.7	7.6	岩屋[東条]	0.1	0.0	0.1
滝[加東]	3.6	3.3	6.9	下久米	0.1	0.0	0.1
東実	3.1	3.7	6.9	加東市民病院	0.0	0.0	0.0
社裁判所前	3.6	2.1	5.7	清水	0.0	0.0	0.0
上久米朝光寺口	1.4	2.6	4.0	新定安国寺口	0.0	0.0	0.0
河高社駅前	2.3	1.4	3.7	下久米西口	0.0	0.0	0.0
滝野社インター	1.7	1.9	3.6	森	0.0	0.0	0.0
田中口[加東]	1.7	1.7	3.4	上久米西口	0.0	0.0	0.0
横谷	1.4	1.7	3.1	桜橋	0.0	0.0	0.0
南山[社]	1.4	1.4	2.9	上馬瀬	0.0	0.0	0.0
東条バスストップ前	1.0	1.4	2.4	松沢	0.0	0.0	0.0
上久米大日前	1.1	0.9	2.0	農協吉井支所前	0.0	0.0	0.0
久米	1.0	1.0	2.0	吉井	0.0	0.0	0.0
新定	0.6	1.3	1.9	診療所前	0.0	0.0	0.0
社小学校	1.0	0.9	1.9	宮ノ下	0.0	0.0	0.0
東条中学校	1.7	0.0	1.7	上久米東口	0.0	0.0	0.0
鳥居	1.3	0.3	1.6	山国東野	0.0	0.0	0.0
松尾	0.9	0.7	1.6	嬉野台生涯教育センタ	0.0	0.0	0.0
高岡	0.7	0.7	1.4	上山口	0.0	0.0	0.0
横谷倉庫	0.7	0.7	1.4				

資料：平成27年6月第1週 NicoPa 利用実績

4.2.3 市内の停留所のOD（起点・終点）

市内の停留所別の1日あたりの平日のODについてみると、乗車数が100人を超えている停留所は社停留所の307.6人/日、社高校前停留所の228.2人/日である。降車数が100人を超えている停留所は同じく社停留所の286.4人/日、社高校前停留所の242.0人/日である。

表 市内の路線バス停留所の OD 表(平日 1 日当たり)

(人/日)		合計	加東市以外	加東市計	社	社高校前	社町駅	兵庫教育大学前	天神	南坊	滝野町農協前	上中	東古瀬	北野「滝野」	滝野	加東市民病院口	加東市役所南(嬉野住宅前)	滝「加東」	上久米朝光寺口	河高社駅前	滝野社インター	横谷	東条バスストップ前	松尾	高岡	藤田東口	依藤野	降車	乗車
加東市民病院		0		0																									
高岡		1		1																									
松尾		1		1																									
鳥居		1		1																									
滝野社インター		1		1																									
河高社駅前		1		1																									
上久米朝光寺口		1		1																									
社裁判所前		1		1																									
東実		3		3																									
社郵便局前		2		2																									
社上本町		3		3																									
加東市役所南(嬉野住宅前)		1		1																									
加東市民病院口		1		1																									
滝野		2		2																									
北野「滝野」		3		3																									
東古瀬		5		5																									
上中		4		4																									
滝野町農協前		6		6																									
南坊		5		5																									
天神		9		9																									
兵庫教育大学前		3		3																									
社高校前		7		7																									
社		18		18																									
加東市計		44		44																									
加東市以外		103		103																									
合計		147		147																									

4.2.4 路線別運行ダイヤ

路線別の運行本数についてみると、平日、土・日・祝日ともに社営業所の運行本数が最も多く、平日は95本/日、土・日・祝日が65本/日となっている。

社営業所について、路線別にみると平日は西脇営業所方面と急行小野・三木・御坂・三宮方面が最も多く20本/日となっている。

表 平日運行本数

	加東市民病院		緑野台生涯教育センター		三木営業所		社営業所		計														
	社方面	天神・三田方面	社方面	天神・三田方面	社方面	北播磨健康センター方面	三木市役所方面	【急行】小野・社・西脇営業所方面		飯島センター方面	西脇営業所方面	久米・天神・三田方面	徳富町方面	三田・西脇方面	姫路方面	明石方面	電鉄小野方面	アステア方面	社町方面	【急行】小野・三木・西脇方面	計		
平日																							
5時台																							
6時台																							
7時台																							
8時台																							
9時台																							
10時台																							
11時台																							
12時台																							
13時台																							
14時台																							
15時台																							
16時台																							
17時台																							
18時台																							
19時台																							
20時台																							
21時台																							
22時台																							
23時台																							
計	2	2	2	6	6	6	18	17	19	3	20	59	1	20	5	10	2	11	17	1	7	20	95

	社高松駅		社町駅		三田駅		三田駅		三田駅		三田駅		三田駅		三田駅		三田駅		三田駅		三田駅		三田駅	
	社方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面	社・三田方面
平日																								
5時台																								
6時台																								
7時台																								
8時台																								
9時台																								
10時台																								
11時台																								
12時台																								
13時台																								
14時台																								
15時台																								
16時台																								
17時台																								
18時台																								
19時台																								
20時台																								
21時台																								
22時台																								
23時台																								
計	13	7	1	5	9	2	37	5	5	1	2	15	18	36	5	2	7	4	8	5	6	5	28	

	電鉄小野駅		計	環境		三本行・平 日のみ、北博 府医療と、こ の医療と、こ 	
--	-------	--	---	----	--	---	--

資料：神姫バス HP

表 土 ・ 日 ・ 祝 日 運 行 本 数

	加東市民病院		通野台生涯学習センター		三木営業所		枕営業所		計	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	計
	社方面	天神～みな ぎ台・三田 方面	社・社町駅 方面	計	社方面	社・社・小 野・三宮・ 御坂・三宮 方面	計	三田駅方面	久米～天神 ～みなぎ台 方面	御坂～みな ぎ台・三田 方面	三田駅方面
土曜日	5時台			0			0				
	6時台			0			0				1
	7時台			0			0			1	1
	8時台			0			1			1	1
	9時台			0			1			1	1
	10時台			0			2				1
	11時台			0			2				1
	12時台			0			1			1	1
	13時台			0			1			1	1
	14時台			0			1			1	1
	15時台			0			2			1	1
	16時台			0			2			1	1
	17時台			0			2			1	1
	18時台			0			2			1	1
	19時台			0			2			1	1
	20時台			0			2			1	1
	21時台			0			2			1	1
	22時台			0			2			1	1
	23時台			0			0			1	1
	計	0	0	0	7	19	31	0	18	2	4

	社町駅前		通野駅前		三田駅前		三田駅前		三田駅前		三田駅前		計
	社方面	社・社町駅 方面	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	
土曜日	5時台			0			0						0
	6時台			0			0						0
	7時台	1		0			0						0
	8時台	1		0			0						0
	9時台	1		0			0						0
	10時台	1		0			0						0
	11時台	1		0			0						0
	12時台	1		0			0						0
	13時台	1		0			0						0
	14時台	1		0			0						0
	15時台	1		0			0						0
	16時台	1		0			0						0
	17時台	1		0			0						0
	18時台	1		0			0						0
	19時台	1		0			0						0
	20時台	1		0			0						0
	21時台	1		0			0						0
	22時台	1		0			0						0
	23時台	1		0			0						0
	計	5	1	2	4	0	12	2	2	0	0	5	11

	通野台駅前		三田駅前		三田駅前		三田駅前		三田駅前		三田駅前		計
	社方面	社・社町駅 方面	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	社・社町駅 方面	計	
土曜日	5時台			0			0						0
	6時台			0			0						0
	7時台			0			0						0
	8時台			0			0						0
	9時台			0			0						0
	10時台			0			0						0
	11時台			0			0						0
	12時台			0			0						0
	13時台			0			0						0
	14時台			0			0						0
	15時台			0			0						0
	16時台			0			0						0
	17時台			0			0						0
	18時台			0			0						0
	19時台			0			0						0
	20時台			0			0						0
	21時台			0			0						0
	22時台			0			0						0
	23時台			0			0						0
	計	0	0	0	4	1	5	0	4	1	5	20	33

資料：神姫バス HP

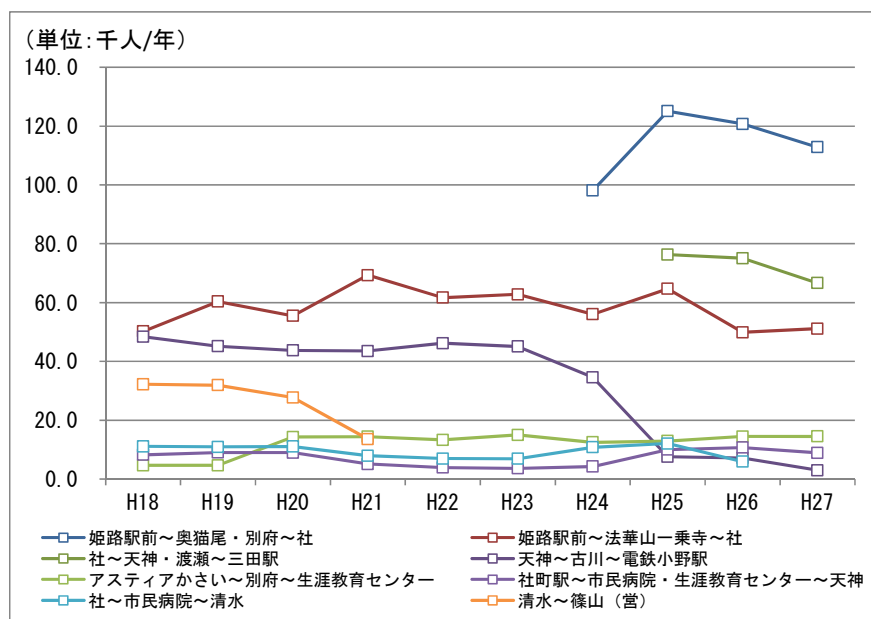
4.2.5 路線別利用者数

路線別の利用者数についてみると、姫路駅前～社の利用者数が最も多く平成27年で112,809人/年となっている。しかし、平成25年のピーク時の125,121人/年から減少している。また、その他の路線についても、減少傾向にある。

表 路線別の利用者数の推移

路線名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
姫路駅前～奥猫尾・別府～社							98,058	125,121	120,751	112,809
姫路駅前～法華山一乗寺～社	50,213	60,345	55,494	69,301	61,699	62,762	56,026	64,659	49,883	51,099
社～天神・渡瀬～三田駅								76,291	75,070	66,610
天神～古川～電鉄小野駅	48,383	45,165	43,742	43,530	46,166	45,051	34,599	7,569	7,184	2,967
天神～南山東～古川～電鉄小野駅										
天神～南山東～松沢										145
天神～常田西～南山東～古川～電鉄小野駅										2,145
天神～常田西～南山東～松沢										336
アスティアかさい～別府～生涯教育センター	4,647	4,647	14,295	14,414	13,323	14,982	12,490	12,917	14,443	14,490
社町駅～市民病院・生涯教育センター～天神	8,214	9,044	8,992	5,087	3,921	3,635	4,248	10,007	10,694	8,909
社～市民病院～清水	11,107	10,924	11,061	7,899	6,932	6,919	10,792	12,066	5,933	
清水～篠山（営）	32,235	31,912	27,729	13,572						

資料：加東市資料



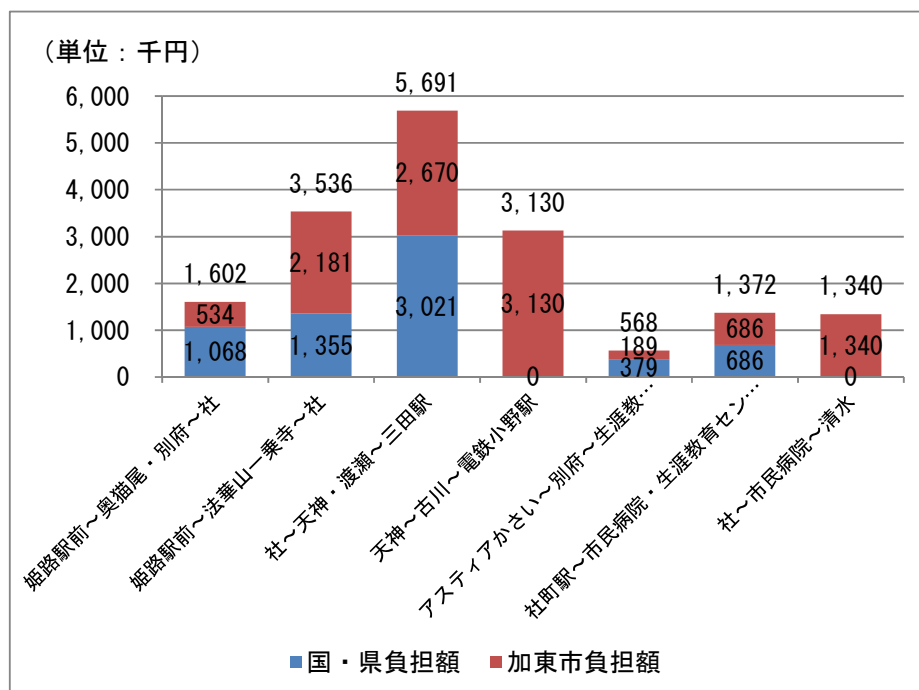
資料：加東市資料

図 補助路線の利用者数の推移

4.2.6 路線別補助金交付状況

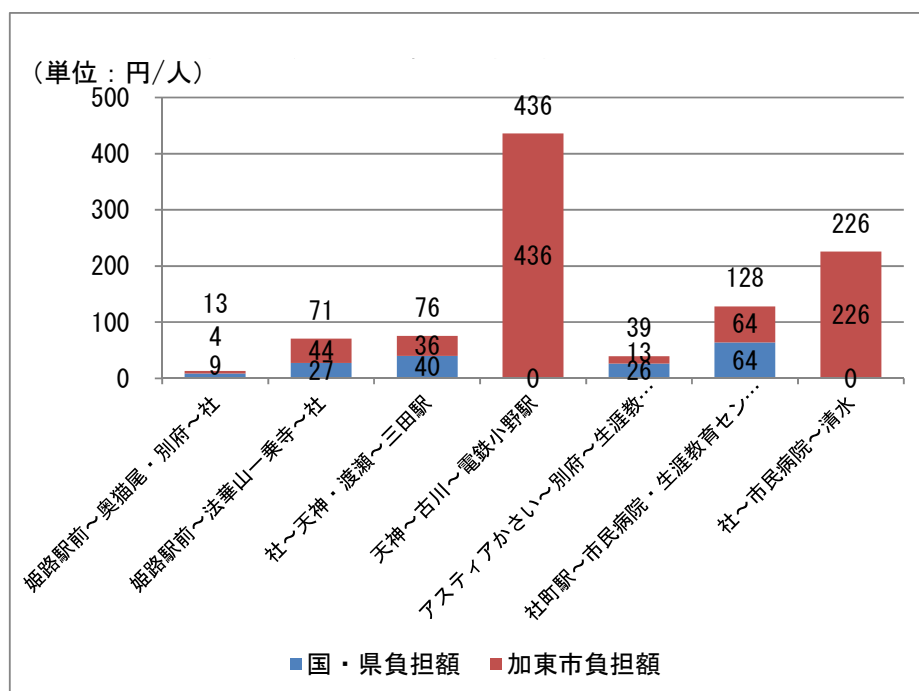
補助額では、社～天神・渡瀬～三田駅の路線が5,691千円と最も高い。

加東市負担額でみると、天神～古川～電鉄小野駅の路線の補助金交付額が3,130千円と最も高く、次いで社～天神・渡瀬～三田駅の2,670千円、姫路駅前～法華山一乗寺～社の2,181千円となっている。



資料：加東市資料

図 路線バス事業者への補助金交付状況



資料：加東市資料

図 利用者1人当たりの補助金交付状況

4.3 高速バスの現状

4.3.1 概要

加東市を東西に走る中国縦貫自動車道において、西日本ジェイアールバスと神姫バスが共同運行する高速バスが走っており、大阪・京都方面へのアクセスが充実している。

4.3.2 路線別運行ダイヤ

路線別の運行本数についてみると、平日、土曜日、日・祝日ともに東条停留所の運行本数が最も多く、平日は104本/日、土曜日、日・祝日が103本/日となっている。

東条停留所について、路線別にみると、いずれの日も大阪駅方面の運行本数が最も多く、35本/日となっている。

表 平日 運行本数

		彦野社インター								社								
		京都駅方面	津山駅方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	アスティア かさい方面	U S J 方面	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計	津山駅方面	西脇方面	アスティア かさい方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	U S J 方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計
平日	5時台				1	1			1	0							1	1
	6時台				1				1	2					1	1	1	3
	7時台				1	3	1		2	5				1	3	1	2	7
	8時台	1	1	1				2	2	8	1	1	1			1	2	6
	9時台		1	2					1	4	1	1				2	1	5
	10時台	1	1	2					1	5	1	1				2	1	5
	11時台	1	2	2					1	5	1	1				2	1	5
	12時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5
	13時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5
	14時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5
	15時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5
	16時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5
	17時台		2	2				1	1	4	1	1				2	1	5
	18時台	1	1	2				1	1	4	1	1				2	1	5
	19時台		2	1				1	3	1	1	1				1	4	
	20時台		2	2					1	1	1	1				2	1	4
	21時台					1			1	1	1		1				2	
22時台								0			1						1	
23時台								0	1								1	
計		4	17	26	4	2	2	9	14	64	13	16	2	4	26	2	14	77

		東条									三木営業所		社営業所		滝駅前	
		津山駅方面	西脇方面	アスティア かさい方面	京都駅方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	U S J 方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計	【急行】小 野・社・西 脇営業所方 面	計	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	計	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	計
平日	5時台									0		0	1		2	2
	6時台					1	1		2	4		0	4	4	3	3
	7時台			1		1	3	1	2	8	1	1	2	2	3	3
	8時台	2	1		1	2		2	1	9	1	1	2	2	2	2
	9時台	2	1			3			1	7		0	1	1	1	1
	10時台	2	1		1	3			1	8	1	1	1	1	1	1
	11時台	2	1			3			1	8	1	1	1	1	1	1
	12時台	1	1			2			1	5	1	1	1	1		0
	13時台	1	1			2			1	5	1	1	1	1	1	1
	14時台	2	1			2			1	5	1	1	1	1	1	1
	15時台	1	1			3			1	6	1	1	1	1	1	1
	16時台	2	1			3			1	7	2	2	2	1	1	1
	17時台	3	1			3			1	7	2	2	2	1	1	1
	18時台	2	1			3			1	7	2	2	2		0	0
	19時台	4	1		1	2			1	9	1	1	1	1	1	0
	20時台	2	1			2			1	5	2	2	1	1		0
	21時台			1					1	2	1	1	1		0	0
22時台								1	1	2	2	2		0	0	
23時台								1	1		0		0	0	0	
計		26	16	2	4	35	4	3	14	104	20	20	20	18	18	18

資料：神姫バス HP

表 土曜日 運行本数

		津野社インター								社									
		京都駅方面	津山駅方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	アステシア かさい方面	US J 方面	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計	津山駅方面	西脇方面	アスティア かさい方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	US J 方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計	
土曜日	5時台								1	0							1	1	
	6時台			1					1	1						2		3	
	7時台				3	1			1	4			1	3			1	5	
	8時台	1	1	2				2	2	8	1	1				2	1	7	
	9時台		1	2				2	2	5	1	1				2	1	6	
	10時台	1	1	2					2	6	1	1				2	1	5	
	11時台	1	2	2					1	5	1	1				2	1	5	
	12時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5	
	13時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5	
	14時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5	
	15時台		1	2				1	1	4	1	1				2	1	5	
	16時台		1	2				1	1	3	1	1				2	1	5	
	17時台		2	2				1	1	5	1	1				2	1	5	
	18時台	1	1	2				1	1	4	1	1				2	1	5	
	19時台		2	1				1	3	1	1	1					4		
	20時台		2	2				1	4	1	1	1				2	1	4	
	21時台					1			1	1	1		1				2		
	22時台								0									1	
	23時台								0	1								1	
	計	4	17	26	3	2	2	11	14	65	13	16	2	3	27	2	14	77	

		東条							三木営業所			社営業所			滝駅前		
		津山駅方面	西脇方面	アスティア かさい方面	京都駅方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	US J 方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計	【急行】小 野・社・西 脇営業所方 面	計	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	計	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	計	
土曜日	5時台								0		0		0		0	0	
	6時台					1			2	3	0	2	2	2	2	2	
	7時台				1			3	1	6	1	1	3	3	3	3	
	8時台	2	1			1	3		2	1	10	0	2	2	3	3	
	9時台	2	1				3			2	8	1	1	2	2	2	
	10時台	2	1		1	3				1	8	1	1	2	2	2	
	11時台	2	1			1	3			1	8		0	1	1	1	
	12時台	1	1				2			1	5	1	1	1	1	0	
	13時台	1	1				2			1	5	1	1	1	1	1	
	14時台	2	1				2			1	5	1	1	1	1	1	
	15時台	1	1				3			1	6	1	1	1	1	1	
	16時台	2	1				3			1	7	2	2	0		0	
	17時台	3	1				3			1	7	2	2	1	1	1	
	18時台	2	1				3			1	7	2	2	1	1	1	
	19時台	4	1		1	2				1	9	1	1	0		0	
	20時台	2	1				2			1	5	2	2	1		0	
	21時台			1						1	2	1		0		0	
22時台									1	2	2		0		0		
23時台									1	1			0		0		
計		26	16	2	4	35	3	3	14	103	19	19	19	19	18	18	

資料：神姫バス HP

表 日・祝日 運行本数

		津野社インター								社								
		京都駅方面	津山駅方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	アスティア かさい方面	USJ方面	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計	津山駅方面	西脇方面	アスティア かさい方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	USJ方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計
日・祝日	5時台								1	0								1
	6時台								1	0					2			3
	7時台								1	0			1	3				5
	8時台							2	2	2	1	1			2	2	1	7
	9時台							2	2	2	1	1			2		2	6
	10時台							2	1	2	1	1			2		1	5
	11時台							1	0	1	1	1			2		1	5
	12時台							1	1	1	1	1			2		1	5
	13時台							1	1	1	1	1			2		1	5
	14時台							1	1	1	1	1			2		1	5
	15時台							1	1	1	1	1			2		1	5
	16時台							1	0	1	1	1			2		1	5
	17時台							1	1	1	1	1			2			4
	18時台							1	0	1	1	1			2		1	5
	19時台							1	0	1	1	1			2		1	4
	20時台								0	1	1	1			2			4
	21時台								0			1	1					2
	22時台								0			1						1
	23時台								0	1		1						1
	計		0	0	0	0	0	0	11	14	11	13	16	21	3	27	2	14

		東条							三木営業所		社営業所		滝駅前	
		津山駅方面	西脇方面	アスティア かさい方面	京都駅方面	大阪駅方面	新大阪駅方面	USJ方面	【高速乗 合】三ノ宮 方面	計	【急行】小 野・社・西 脇営業所方 面	計	【急行】小 野・三木・ 御坂・三宮 方面	計
日・祝日	5時台								0	0		0		0
	6時台					1			2	3		0	2	2
	7時台			1				3	1	6	1	1	3	3
	8時台	2	1		1	3		2	1	10		0	2	3
	9時台	2	1			3			2	8	1	1	2	2
	10時台	2	1		1	3			1	8	1	1	2	2
	11時台	2	1		1	3			1	8		0	2	1
	12時台	1	1			2			1	5	1	1	1	0
	13時台	1	1			2			1	5	1	1	1	1
	14時台	2	1			2			1	5	1	1	1	1
	15時台	1	1			3			1	6	1	1	0	1
	16時台	2	1			3			1	7	2	2	0	0
	17時台	3	1			3			1	7	2	2	1	1
	18時台	2	1			3			1	7	2	2	1	1
	19時台	4	1		1	2			1	9	1	1	0	0
	20時台	2	1			2				5	2	2	1	0
	21時台			1						2	1	1	0	0
	22時台									1	2	2	0	0
	23時台			1						1		0	0	0
	計	26	16	2	4	35	3	3	14	103	19	19	19	18

資料：神姫バス HP

4.3.3 駐車場設置状況

各高速バス停留所の周辺には駐車場が8箇所、計166台分が整備されている。

表 高速バス停留所周辺の駐車場設置状況

	箇所	番号	種別	区画数	利用数	設置者
ハイウェイバス停	東条バス停周辺	⑧	月極	21台	6台	民間
		⑨	一時	約17台	11台	民間
	社バス停周辺	⑩	一時	7台	7台	加東市
		⑪	一時	14台	14台	加東市
		⑫	月極・一時	13台	13台	民間
	滝野社インターバス停周辺	⑬	一時	56台	31台	民間
		⑭	月極	約30台	約16台	民間
	滝野バス停周辺	⑮	月極	約8台	6台	民間
合計				166台	104台	

資料：加東市資料



資料：加東市資料

図 高速バス停留所周辺の駐車場設置箇所

4.3.4 路線バスとの乗継状況

各高速バス停留所に近接する路線バス停留所における乗継状況についてみると、滝野社インターでは、三宮方面の路線バスに乗り継ぐ場合は、約 20～30 分の乗り継ぎ時間となっている。西脇営業所方面の路線バスに乗り継ぐ場合は、約 20～50 分の乗り継ぎ時間となっている。一方で 6～7 時台や 11 時台、18～21 時台は西脇営業所方面への運行が無い状況となっている。

表 滝野社インター停留所における乗継状況

平日	高速バス						路線バス		
	滝野社インター						滝野社インター		
	京都駅	津山駅	大阪駅	新大阪駅	アスティア かさい	USJ	三ノ宮	【急行】小野・三木・ 御坂・三宮	西脇営業所
5							51		
6			16	46			36		
7			16	01 31 46	52		06 36		
8	11	48	46			01 16	36	26 56	05
9		48	16 46				36	56	14
10	21	48	16 46				36	56	45
11	21	11 48	16 46				36		
12		48	16 46				36	06	14
13		48	16 46				36	46	14
14		48	16 46					46	14
15		52	16 46				36	46	14
16		52	16 46				36	46	14
17		51 52	16 46						07
18	51	52	16 46				36		
19		11 52	16				36		
20		51 52	16 19						
21					56				
22									
23									

社停留所では、高速バスが運行している 5～6 時台及び 10～12 時台、16 時台、20～21 時台の路線バスの運行が無い状況となっている。そのため、路線バスの乗り継ぎ時間が最大約 2 時間となる。

また、高速バス停留所と路線バス停留所が 230m 離れており、徒歩で 3 分要する。

表 社停留所における乗継状況

平日	高速バス							路線バス		
	社							嬉野温泉口		
	津山駅	西脇	アスティア かさい	新大阪駅	大阪駅	USJ	三ノ宮	天神～み なぎ台・ 三田	社	社・社町駅
5							55			
6				50	22		40			
7			48	07 37 52	20		10 40	11	14 38	
8	44	18			50		40	06		09
9	44	18			20 52	07 20	40		29	
10	44	18			20 50		40			
11	44	18			20 52		40			
12	44	18			20 52		40			
13	44	18			20 52		40		31	
14	44	18			20 52					
15	48	18			20 52		40	33		
16	48	18			20 52		40			
17	48	18			20 52			23		
18	48	18			20 52		40			
19	48	18			20		40	25		
20	48	18			20 25					
21		18	52							
22		18								
23		18								



資料：Google Map

図 社停留所（高速バス）から嬉野温泉口停留所（路線バス）までの乗継経路

東条停留所では、社方面への乗り継ぎ時間は約 10～20 分となっている。

また、高速バス停留所と路線バス停留所が 150m 離れており、徒歩で 2 分要する。

表 東条停留所における乗継状況

平日	高速バス								路線バス					
	東条								東条BS前					
	津山駅	西脇	アステア かさい	京都駅	新大阪駅	大阪駅	USJ	三ノ宮	天神	天神～み なぎ台・ 三田	電鉄小野	松沢	社	社・社町駅
5														
6					27	55		00 45			31			
7			43		25	12 42 57	46	15 45	56	21			05 29	59
8	08 39	13		20	46 55		12 25	45		16			05	
9	08 39	13			25 46 57			45	58	11		03	19	
10	08 39	13		30	25 46 55			45		40		53		
11	02 39	13		30	25 46 57			45	48					15
12	39	13			25 57			45						
13	39	13			25 57			45					21	
14	08 39	13			25 57					00		28		
15	43	13			25 46 57			45		57				11
16	08 43	13			25 46 57			45		43				09
17	08 42 43	13			25 46 57				36	25				16
18	08 43	13			25 46 57			45		33	06		38	
19	02 08 43 58	13		00	25 46			45	24	40				
20	42 43	13			25 30					35				
21		13	47											
22		13												
23		13												



資料：Google Map

図 東条停留所（高速バス）から東条 BS 停留所（路線バス）までの乗継経路

4.4 市町村運営有償運送の現状

4.4.1 概要

交通空白地の解消を目的に、現在、市内2路線（加東市米田地区における「米田ふれあい線」、鴨川地区における「きよみず線」）を運行している。

※「米田ふれあい線」については、交通空白地から最寄りのバス停までの区間を基本としているが、高齢者など公共交通機関への乗継が困難な利用者は、加東市中心部（市役所）までの利用が可能である。

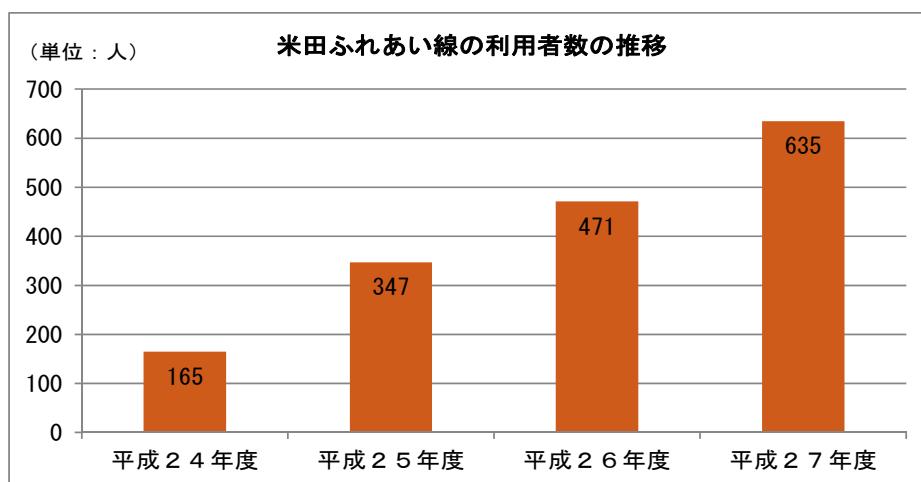
米田ふれあい線は週2回、1日2往復、きよみず線は週2回、1日3往復運行している。

4.4.2 乗降者数

① 米田ふれあい線

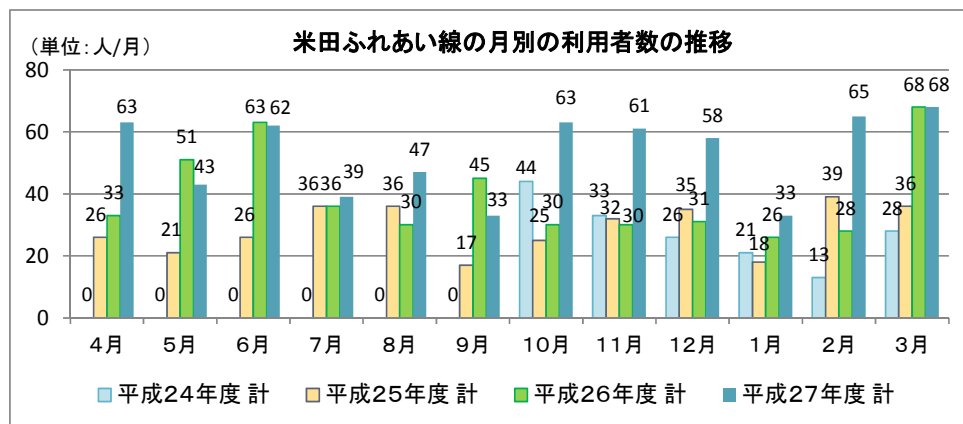
米田ふれあい線の利用者数の推移についてみると、平成24年度の165人から平成27年度の635人に利用者が増加している。

月別の利用者数の推移についてみると、平成24年度から平成27年度にかけて、各月で利用者数が増加していることが分かる。



資料：加東市資料

図 米田ふれあい線の利用者数の推移

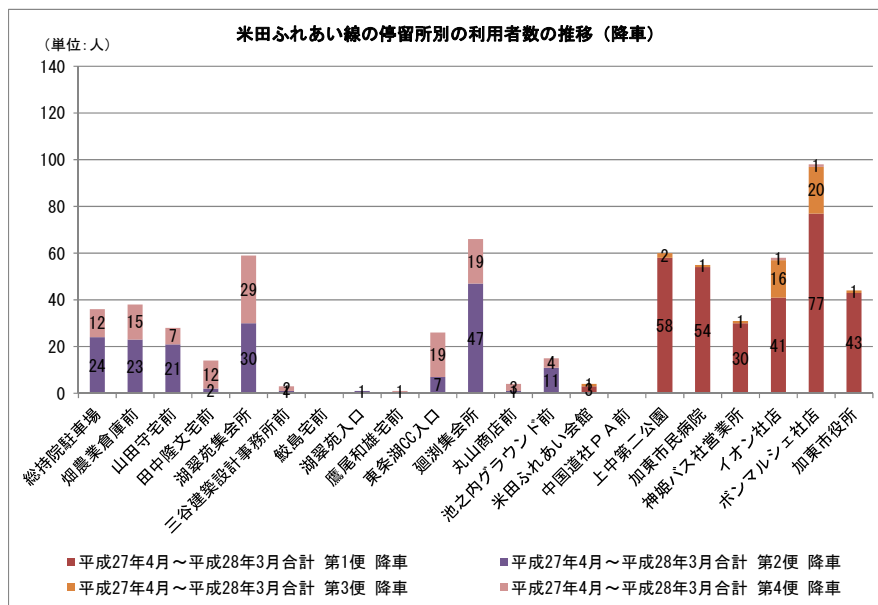
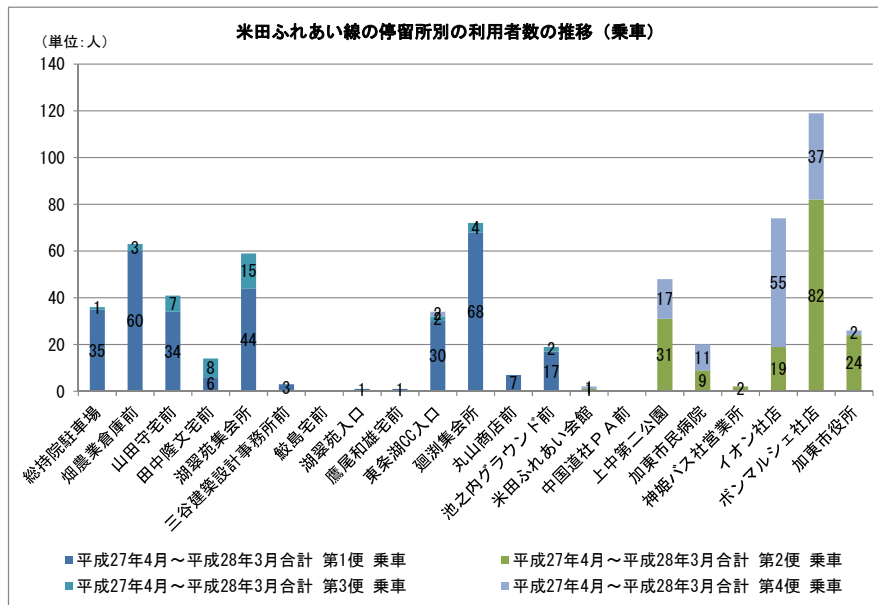


資料：加東市資料

図 米田ふれあい線の月別の利用者数の推移

米田ふれあい線の停留所別の利用者数の推移についてみると、乗車はボンマルシェ社店が最も多く 119 人（2 便 82 人、4 便 37 人）であり、次いでイオン社店 74 人（2 便 19 人、4 便 55 人）、廻渚集会所 72 人（1 便 68 人、3 便 4 人）となっている。

降車については、ボンマルシェ社店が最も多く 97 人（1 便 77 人、3 便 20 人）であり、次いで廻渚集会所 66 人（2 便 47 人、4 便 19 人）、上中第二公園 60 人（1 便 58 人、3 便 2 人）となっている。



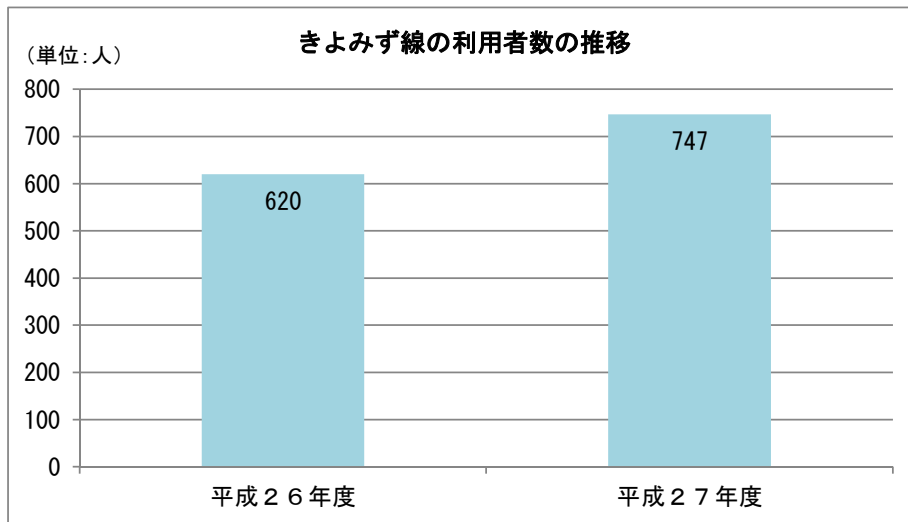
資料：加東市資料

図 米田ふれあい線の停留所別の利用者数の推移

② きよみず線

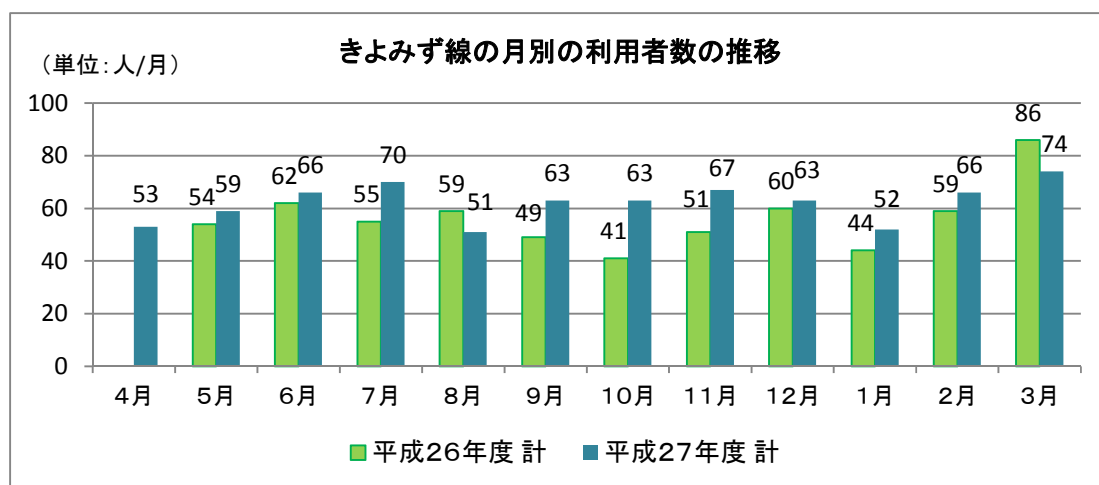
きよみず線の利用者数の推移についてみると、平成 26 年度の 620 人から平成 27 年度の 747 人に利用者が増加している。

きよみず線の月別の利用者数の推移についてみると、平成 26 年度と比較して、平成 27 年度は 5 月、3 月以外は利用者数が増加している。



資料：加東市資料

図 きよみず線の利用者数の推移

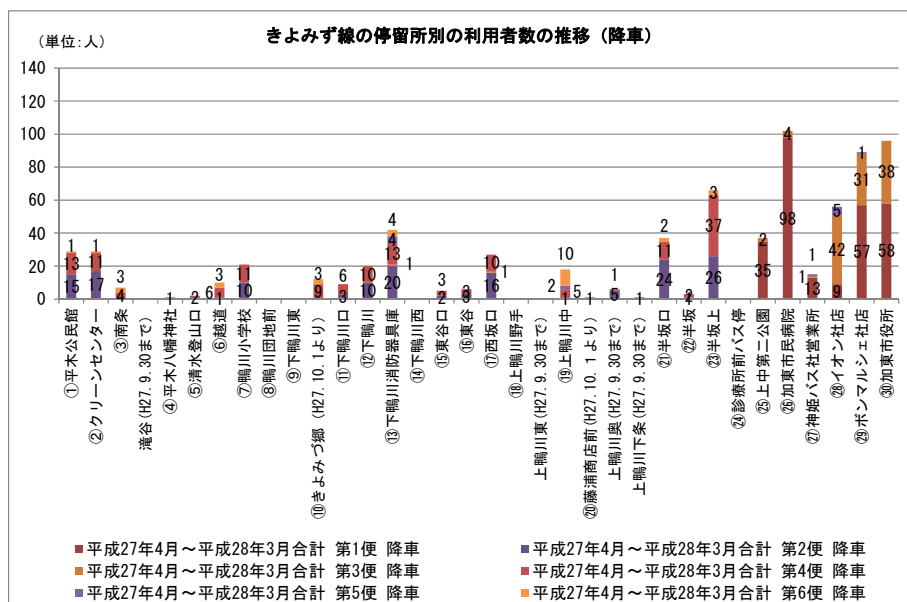
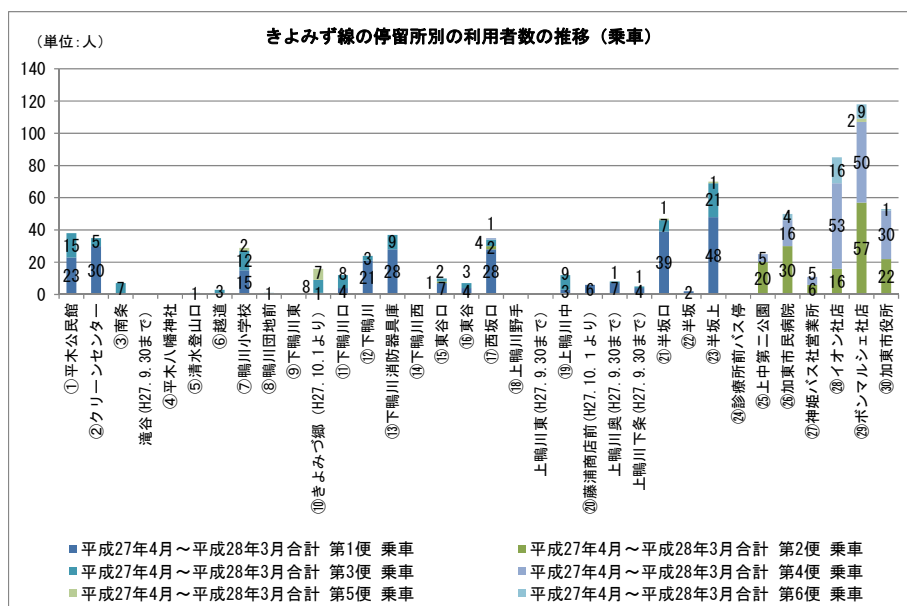


資料：加東市資料

図 きよみず線の月別の利用者数の推移

きよみず線の停留所別の利用者数についてみると、乗車では、ボンマルシェ社店が最も多く116人（2便57人、4便50人、6便9人）となっている。次にイオン社店が85人（2便16人、4便53人、6便16人）、半坂上が70人（1便48人、3便21人、5便1人）となっている。

降車では、加東市民病院が最も多く102人（1便98人、3便4人）となっている。次に加東市役所が96人（1便58人、3便38人）、ボンマルシェ社店が89人（1便57人、3便31人、5便1人）となっている。



資料：加東市提供資料

図 きよみず線の停留所別の利用者数の推移

4.5 福祉タクシー

4.5.1 概要

市の取組として、高齢者や障害者がタクシーを利用されるときに、その費用の一部を助成する福祉タクシー事業を行っている。

4.5.2 利用者数

利用券の交付及び利用者数を以下に示す。

表 平成 26 年度の利用実績

項目	数量
交付枚数	64,680 枚
交付人数	2,156 人
利用枚数	44,433 枚
利用率	68.7%
年間補助金額	22,216,500 円

①地区別年度別申請者数の推移

申請者数の推移についてみると、平成 21 年度から平成 26 年度の間で増加を続けている。

地区別にみると、社地区では、3 地区の中で申請者数が最も多く、平成 21 年度は 376 人、平成 26 年度は 1,168 人となっている。

滝野地区では、3 地区の中で申請者数が 2 番目に多く、平成 21 年度では 251 人、平成 26 年度では 536 人となっている。

東条地区では、3 地区の中で申請者数が最も少なく、平成 21 年度では 109 人、平成 26 年度では 452 人となっている。一方で、申請者数の増加率は東条地区が 3 地区の中で最も高く、平成 21 年度と比べて、平成 26 年度は 417%となっている。

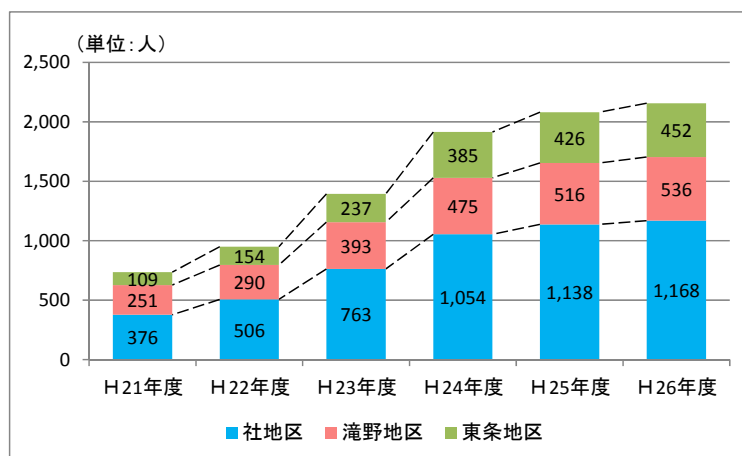


図 地区別年度別の申請者数の推移

②利用券種類別年度別配布数の推移

配布数の推移についてみると、高齢者用の配布数は平成 21 年度と比べて、平成 26 年度では 59,310 枚となっており、425%となっている。

障害者用の配布数は平成 21 年度と比べて、平成 26 年度では 5,370 枚となっており、341%となっている。

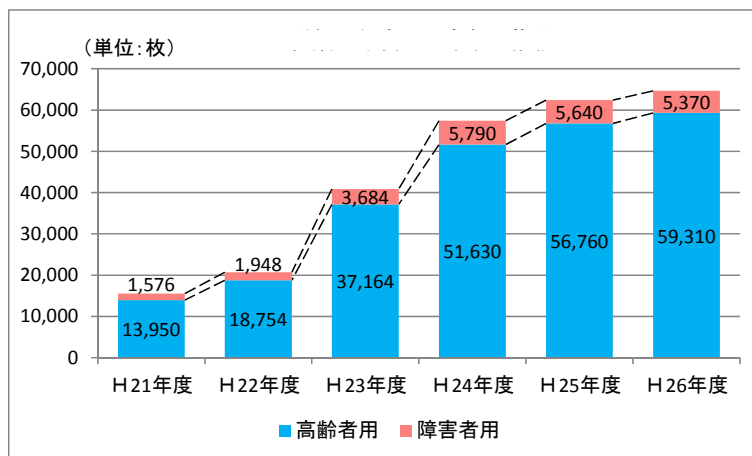


図 利用券種類別年度別配布数の推移

③利用券種類別年度別利用枚数の推移

利用枚数の推移についてみると、高齢者用の利用枚数は平成 21 年度と比べて、平成 26 年度で 41,098 枚となっており、686%となっている。

障害者用の利用枚数は平成 21 年度と比べて、平成 26 年度で 3,335 枚となっており、572%となっている。

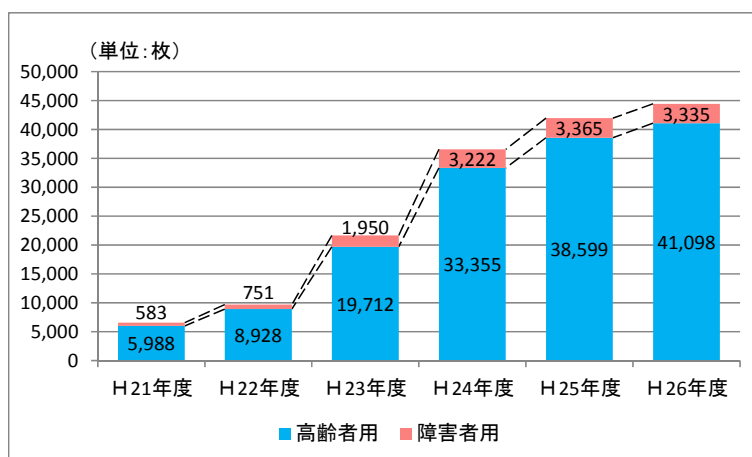


図 利用券種類別年度別利用枚数の推移

④利用券種類別年度別助成金額の推移

助成金額の推移についてみると、年々増加しており、平成 26 年度には、高齢者用で 20,549 千円、障害者用で 1,668 千円となっている。

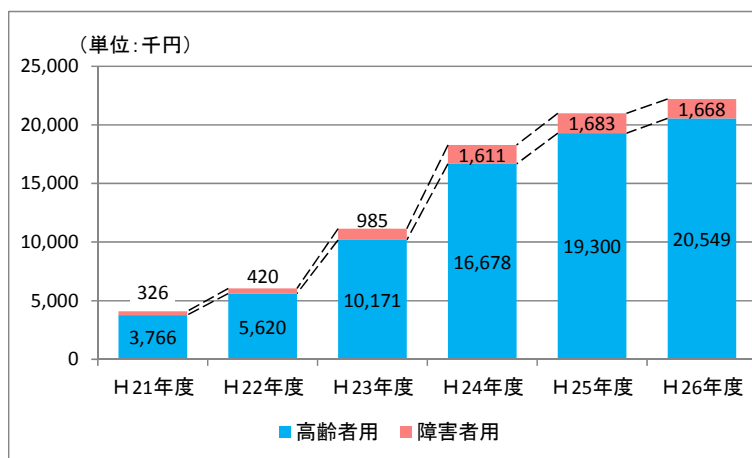


図 利用券種類別年度別助成金額の推移

⑤地区別申請者数の推移 H26 年度月別

申請者数の月別の推移についてみると、利用券の配布開始月である 7 月に申請が各地区とも集中している。

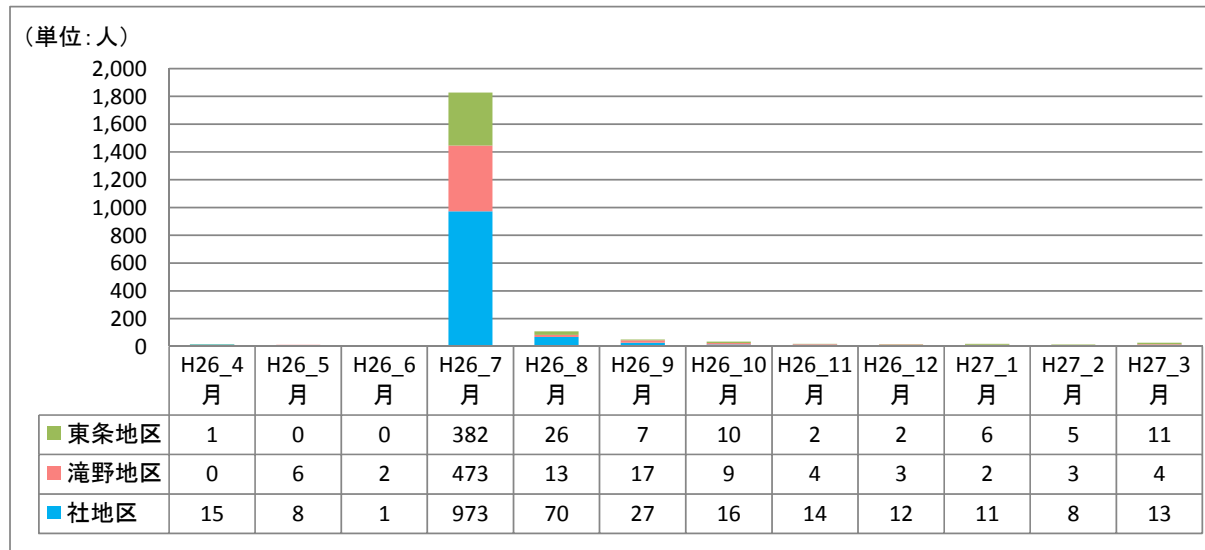


図 地区別申請者数の推移

⑥利用券種類別配布数の推移 H26 年度月別

配布数の月別の推移についてみると、配布開始月である7月に配布が集中していることが分かる。

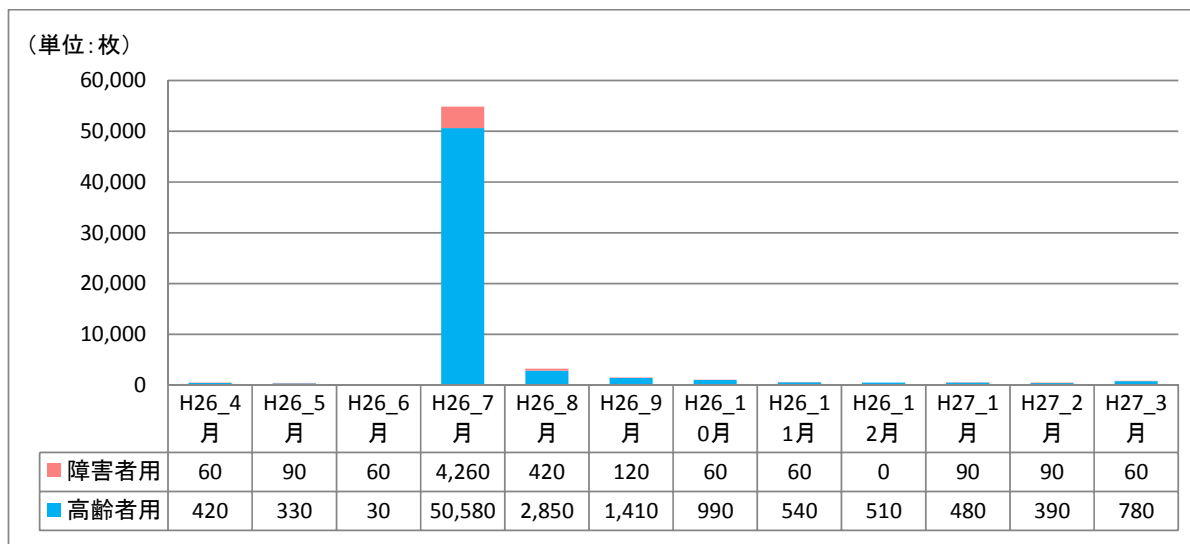


図 平成 26 年度利用券種類別月別配布数の推移

⑦利用券種類別利用枚数の推移 26 年度月別

利用枚数の月別の推移についてみると、利用券の有効期限である6月に利用が集中していることが分かる。それ以外の月では、7月の利用が多く、その後1月まで利用枚数は減少傾向にある。2～5月にかけて、再び利用が増加している。

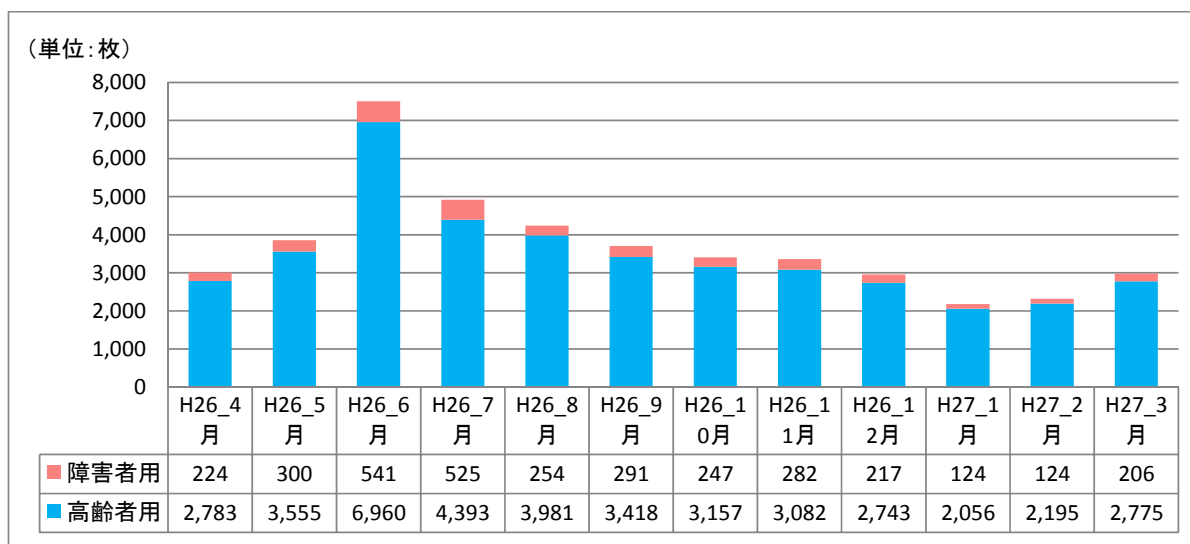


図 利用券種類別月別利用枚数の推移

⑧利用券種類別年度別助成金額の推移 H26 年度月別

助成金額の月別の推移についてみると、6月に助成が集中していることが分かる。

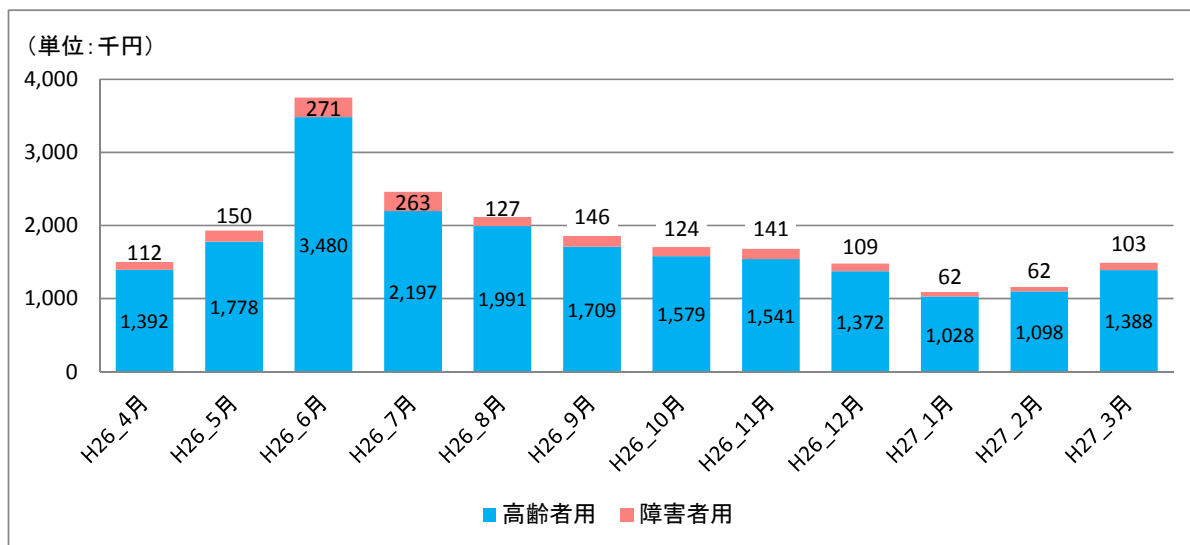


図 利用券種類別月別助成金額の推移

4.6 利用者の意向等

4.6.1 市民ワークショップの開催

回（開催日）	概要
第1回 （平成27年7月26日（日））	■加東市の公共交通の良いところ、悪いところを整理 <良いところ> ・鉄道、バスがあり、特にハイウェイバスは便利である。 ・高速道路、国道など道路整備はされている。 <悪いところ> ・最寄りの駅、バス停が遠く、本数も少ない。 ・高齢者の移動手段が確保されていない。 ・福祉タクシー事業の利用状況に地域差がある。
第2回 （平成27年8月23日（日））	■加東市の公共交通の改善点を整理 講義：大阪大学 土井勉特任教授 「公共交通の役割・価値について」 <公共交通の改善アイデア> ・わかりやすい時刻表や路線図があればよい。 ・病院、買い物に利用できるルート。 ・土日や夜遅い時間の運行。 ・まちづくりと公共交通を連携させる。
第3回 （平成27年9月5日（土））	■公共交通で移動するために必要な交通網を整理 ・市内の移動、市外への移動や通勤・通院などの目的にあった利用のためには路線バスだけでなく他の手段や仕組みが必要である。 ・地域で運営するバス・タクシーの導入。 ・コミュニティバスの運行は、時間帯によってルートを変更する。 ・情報を発信し、利用促進を図る。

回（開催日）	概要
第4回 （平成27年9月25日（金））	■交通コストについて整理 ・市内は100円～300円までの金額。一律料金を望む。 ・市外はどのようなルートを作るかが重要。鉄道との接続も大事である。 ■全体まとめ <市内ルート> ・市街地中心部、医療機関を循環するようなルートが必要。 ・通学のために学校区の広い小中学生の利便を考慮した公共機関が必要。 ・市町村運営有償運送と路線バスの競合区間の取り扱いについては、もっと柔軟に対応する必要がある。また運転手確保のための対策が必要。 ・市内の移動は同一料金が望ましい。 <市外ルート> ・おもちゃ王国、清水寺など観光地を経由したルートの検討。 ・通勤通学の需要がある方面へは、乗継がスムーズにできるよう連携する。 <多様な移動手段の選択> ・路線バス、コミュニティバス、福祉タクシー、市町村運営有償運送など地域の実情に応じた移動手段により、全市にネットワークを形成する必要がある。 <その他> ・公共交通の利用促進のためには、まちの魅力増進や情報発信などのまちづくりとの連携が必要。

4.6.2 交通行動調査および意向調査の実施

① 調査方法及び対象

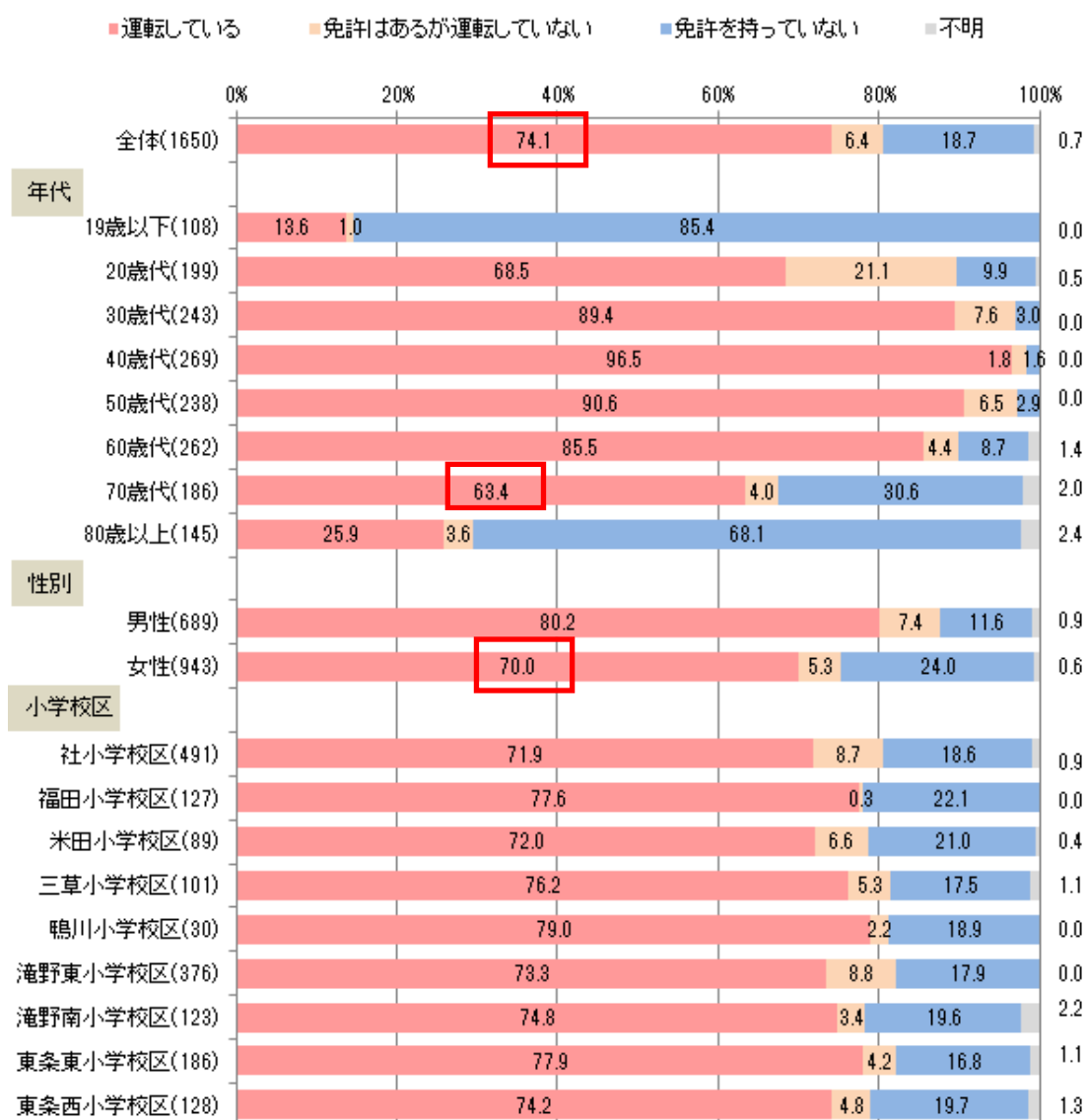
- ・ 市内 4,000 人を対象（16 歳以上無作為抽出）
- ・ 調査期間：平成 28 年 1 月 28 日～2 月 12 日
- ・ 方法：郵送による配布・回収
- ・ 回答 1,727 人 回答率 43.2%

② 調査結果の概要

1) 日常的な自動車の運転率は、74%と非常に高い。

女性で 70%、70 歳代で 63%と老若男女を問わず、運転率が高い。

Q2-1.日常的な自動車運転実態（SA）

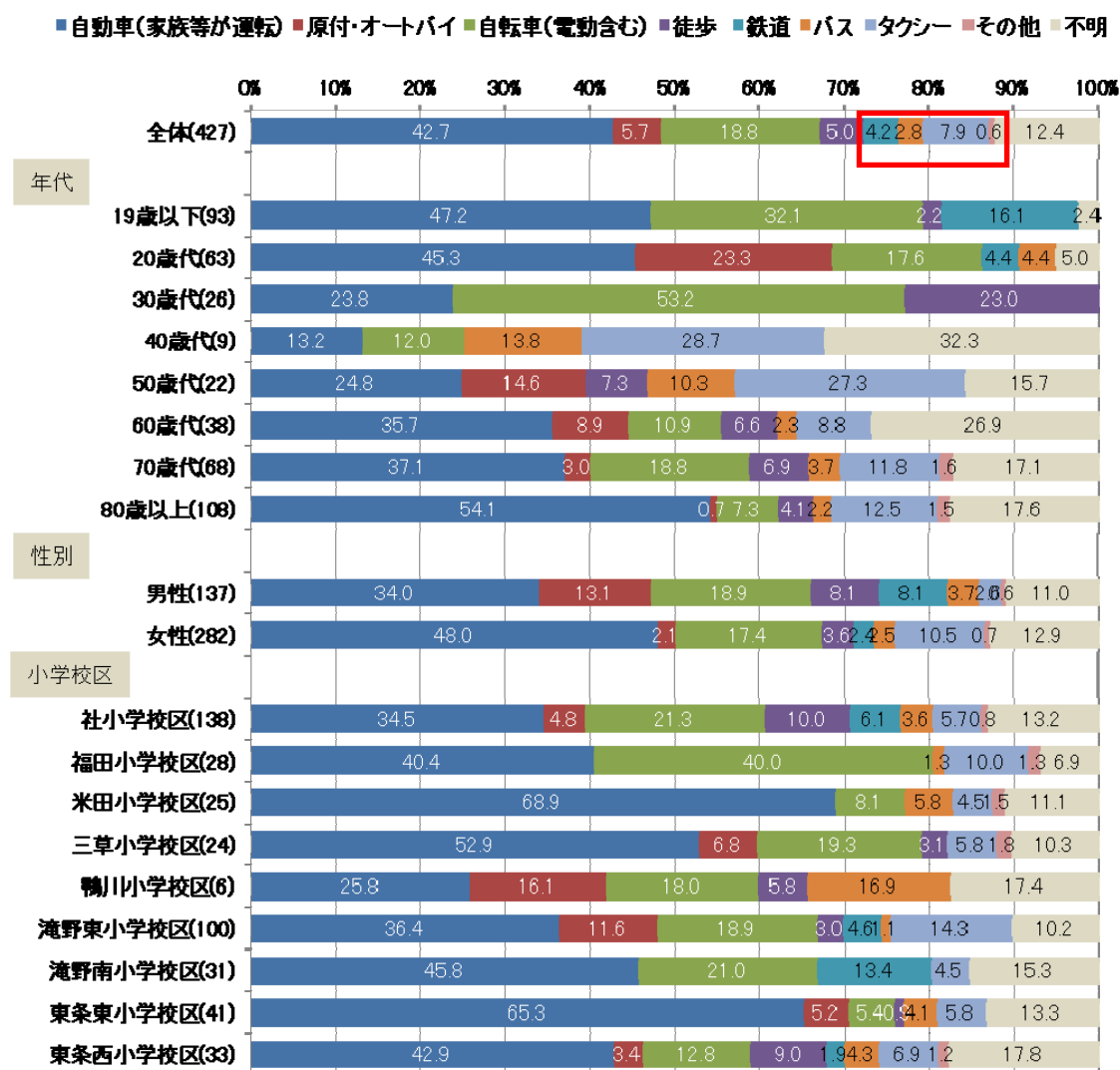


出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

図 日常的な自動車運転実態

- 2) 非運転者の主な移動手段でも、公共交通機関（鉄道、バス、タクシー合算）は15%に止まり、公共交通機関への依存度は非常に低い。

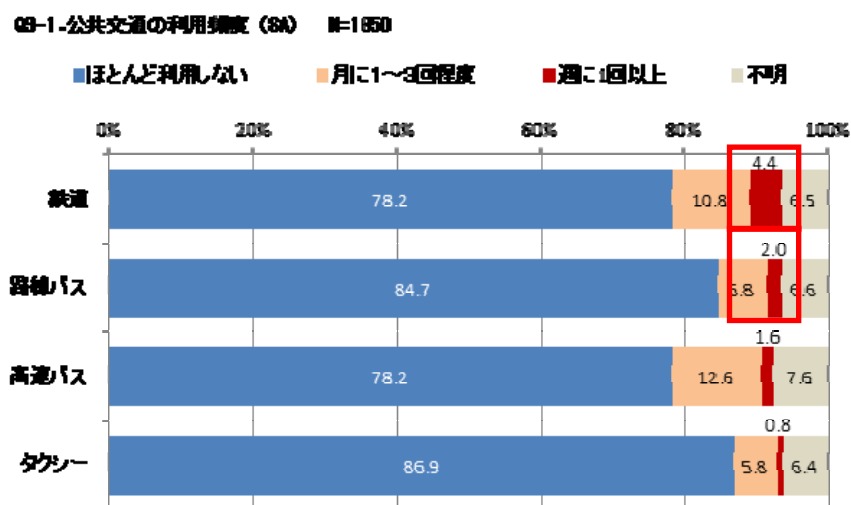
Q2-2. 非運転者の主な移動手段 (SA) / 非運転者ベース



出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

図 非運転者の主な移動手段

- 3) 公共交通機関の日常的な利用層（「週に1回以上」）は、最多の鉄道でも4%で、路線バスに至っては2%と極めて低い。鉄道、路線バス、高速バスは、8割前後が「ほとんど利用しない」層である。

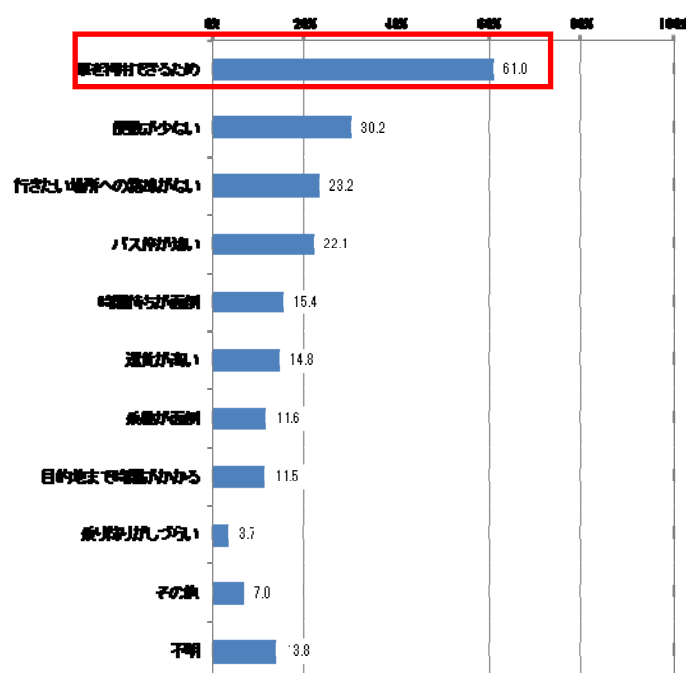


出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

図 公共交通の利用頻度

- 4) 路線バスの利用が低い理由としては「車を利用できるため」が61%で最多となる。全小学校区とも、車の利用が最多理由であることに変わりない。但し、滝野南小学校区、東条東、東条西小学校区の市内両端部の校区で「便数が少ない」「行きたい場所への路線がない」といった、輸送サービスへの不満が他の校区に比べて高くみられる。

Q3-2. ①路線バスをあまり利用しない理由(すべてOK)
N=1617/路線バス低頻度利用者ベース



出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

図 路線バスをあまり利用しない理由

表 居住小学校区別の路線バスをあまり利用しない理由

Q3-2①バス低頻度利用理由

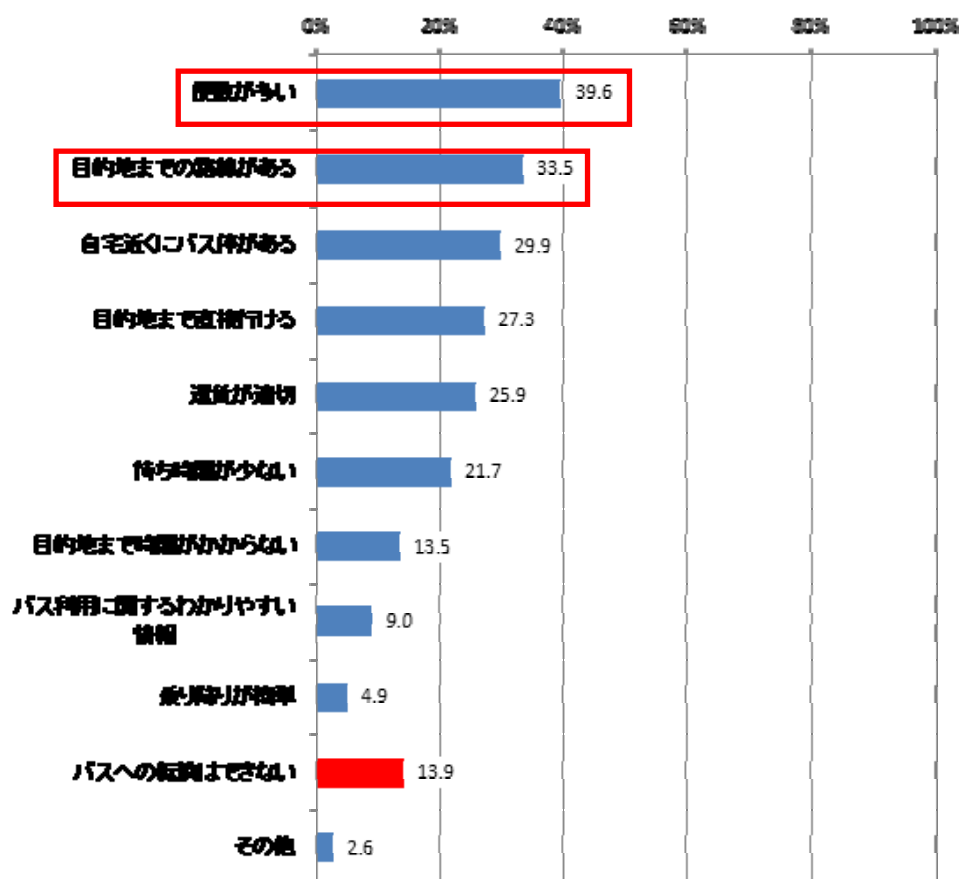
	全体	Q1-5. 居住小学校区								
		杜小学校区	福田小学校区	米田小学校区	三草小学校区	鴨川小学校区	滝野東小学校区	滝野南小学校区	東条東小学校区	東条西小学校区
N	1617	477	125	87	100	29	375	122	181	123
車を利用できるため	61.0	65.1	63.0	49.3	59.3	35.3	64.3	53.6	56.9	62.4
便数が少ない	30.2	32.3	15.2	32.3	24.2	25.7	21.5	37.0	43.4	41.7
行きたい場所への路線がない	23.2	21.4	13.8	14.7	21.5	19.7	19.9	29.2	37.8	30.6
バス停が遠い	22.1	21.5	25.3	32.5	16.5	6.8	18.8	17.9	33.1	20.9
時間待ちが面倒	15.4	16.7	13.6	11.4	15.0	13.3	11.2	23.1	19.1	16.0
運賃が高い	14.8	19.1	16.1	13.9	5.5	5.8	8.6	9.4	24.3	17.4
乗継が面倒	11.6	12.8	8.0	13.6	10.1	9.0	9.2	13.2	15.8	10.9
目的地まで時間がかかる	11.5	14.8	12.2	6.3	8.2	11.6	6.6	13.2	17.3	9.8
乗り降りがいづらい	3.7	3.9	2.5	5.4	2.5	1.2	4.1	4.2	3.1	3.8
その他	7.0	8.6	6.6	3.6	5.5	17.9	9.1	5.7	3.4	2.9
不明	13.8	11.2	17.0	18.6	18.9	34.3	13.1	12.9	14.5	10.4

※Nが30以上で、全体値よりも 10%以上高い 5%以上、10%未満高い 5%以上、10%未満低い 10%以上低い

出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

- 5) 自家用車から路線バスへの転換条件としては、「便数が多い」が40%で最多である。次いで「目的地までの路線がある」が34%と続く。特に、市内東部の東条東・西小学校区では、これらのニーズが高くみられる。

Q9-2. ②自家用車から路線バスへ転換を促す要件(いくつかでも○)
N=1617/路線バス低頻度利用者ベース

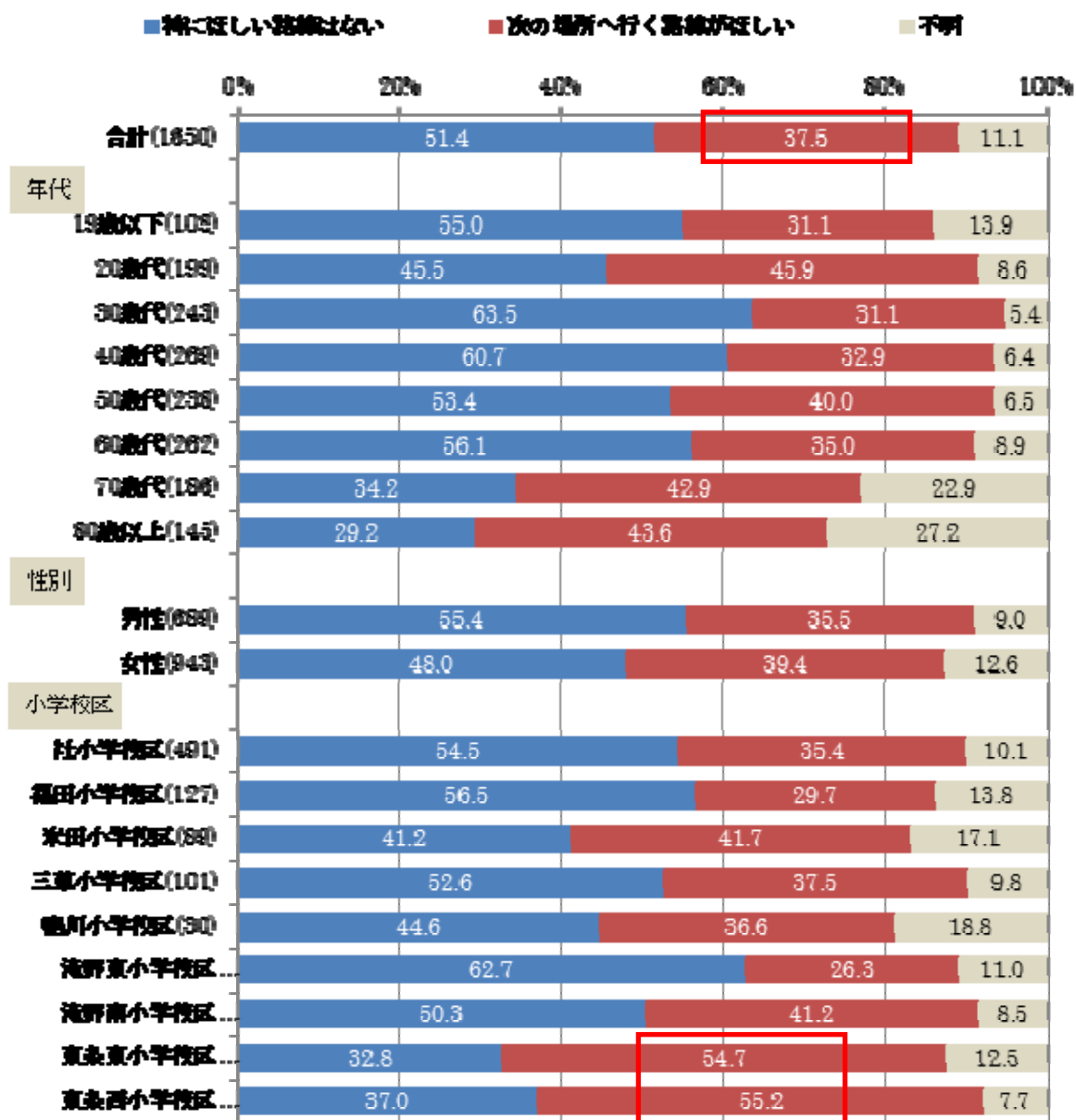


出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

図 自家用車から路線バスへ転換を促す要件

- 6) 新路線への期待は、東条東・西小学校区では5割強（「次の場所へ行く路線が欲しい」）と、全体値よりも10ポイント以上高い。路線バスへの期待がうかがえる。

Q4-1. 欲しい路線有無 (8A)



出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

図 新たな路線バスのニーズ

7) 加東市民の市内移動実態（小学校区住民数×移動頻度）をみると、大きく三つの流れがみられる。

1. 最も大きい移動が、社及び隣接する滝野東・南、福田、三草小学校区から社校区内の商業施設への移動である。これらは、「日常的な買い物」「週末の買い物」目的で、ほぼ車でのアクセスである。

2. 滝野東小学校区では、社方面だけでなく「闘竜灘、ジャパン滝野店周辺」（買い物目的）、「滝野郵便局、JA滝野支店周辺」（各種手続き）、「滝野社インター周辺」（レジャー、通勤）へのアクセスも多い。交通手段は車である。

3. 市内東部では、東条東小学校区から「マックスバリュ東条店」や東条地区の周辺施設へのアクセスが高くみられる。交通手段は同じく車である。

表 加東市内の移動実態

Q5-1-1)加東市内平均訪問頻度(単位: 回/週)

	社	福田	米田	三草	鴨川	滝野東	滝野南	東条東	東条西
N	491	127	89	101	30	376	123	186	128
社地域	市役所周辺	0.778	0.330	0.752	1.007	0.477	0.318	0.260	0.406
	加東警察署・県総合庁舎・やしろショッピングパーク Bio 周辺	1.414	1.246	1.110	1.291	0.672	0.859	1.120	0.429
	マックスバリュ社店周辺	1.268	0.498	0.920	1.296	0.555	1.079	0.592	0.303
	ボンマルシェ周辺	1.166	0.665	0.985	1.119	0.479	0.582	0.392	0.327
	加東市民病院	0.206	0.153	0.138	0.136	0.197	0.126	0.058	0.106
	社パーキングエリア周辺	0.097	0.027	0.272	0.134	0.047	0.127	0.011	0.027
	兵庫教育大学	0.279	0.014	0.558	0.155	0.066	0.114	0.038	0.121
	やしろ国際学習塾周辺	0.050	0.019	0.106	0.831	0.233	0.114	0.021	0.040
	社児童館・平池公園周辺	0.137	0.701	0.142	0.094	0.000	0.041	0.016	0.013
	松原メイフラワー病院周辺	0.084	0.039	0.260	0.114	0.072	0.109	0.011	0.118
	社地域内の個人医院	0.088	0.098	0.101	0.181	0.142	0.053	0.037	0.025
	社地域その他	0.210	0.100	0.357	0.272	0.334	0.053	0.058	0.062
滝野地域	滝野温泉ぽかぽ周辺	0.081	0.058	0.046	0.251	0.007	0.257	0.182	0.059
	播磨中央公園・滝野公民館・滝野図書館・滝野文化会館	0.165	0.099	0.070	0.200	0.011	0.485	0.279	0.094
	闘竜灘、ジャパン滝野店周辺	0.181	0.204	0.022	0.276	0.012	1.240	0.425	0.064
	滝野郵便局、JA滝野支店周辺	0.136	0.058	0.022	0.181	0.005	1.151	0.319	0.046
	滝野総合公園体育館(スカイピア)周辺	0.116	0.047	0.055	0.056	0.002	0.288	0.742	0.013
	滝野社インター周辺	0.466	0.346	0.275	0.336	0.108	1.185	0.559	0.060
	滝野地域内の個人医院	0.043	0.022	0.002	0.124	0.006	0.116	0.325	0.008
	滝野地域その他	0.107	0.008	0.001	0.096	0.074	0.156	0.421	0.021
東条地域	東条文化会館・東条図書館周辺	0.020	0.012	0.178	0.013	0.012	0.020	0.011	0.737
	とどろき荘周辺	0.033	0.088	0.106	0.022	0.029	0.018	0.041	0.837
	マックスバリュ東条店周辺	0.022	0.047	0.450	0.033	0.166	0.013	0.000	1.623
	ひょうご東条インター周辺	0.060	0.106	0.264	0.064	0.060	0.193	0.010	0.957
	JA 東条支店・東条郵便局周辺	0.022	0.013	0.148	0.009	0.028	0.104	0.000	1.128
	東条湖おもちゃ王国周辺	0.041	0.007	0.294	0.040	0.158	0.167	0.138	0.391
	東条地域内の個人医院	0.002	0.000	0.017	0.004	0.013	0.020	0.000	0.226
	東条地域その他	0.083	0.003	0.052	0.002	0.249	0.002	0.000	0.165
	市内その他	0.032	0.040	0.011	0.049	0.002	0.076	0.137	0.025
		0.032	0.040	0.011	0.049	0.002	0.076	0.137	0.108

※「ほとんど行かない」(0.0 回)、「2ヶ月に1回程度」(0.125 回)、「1ヶ月に1回程度」(0.25 回)、「2週間に1回程度」(0.5 回)、「週に1・2回」(1.5 回)、「週に3・4回」(3.5 回)、「週に5回以上」(6.5 回)として計算。

出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

- 8) 加東市民の市外移動実態（小学校区住民数×移動頻度）をみると、「西脇市」「小野市」の移動が各3万人／週程度と他の近隣都市と比べて抜きん出て多い。特に、社小学校区、滝野東小学校区からの流出が半分以上を占める。

福田、滝野南から「小野市」、滝野東から「西脇」、鴨川から「三田」への移動人数は、加東市内のどの施設への移動よりも多く、生活圏が加東市外に向いていると考えられる。一方、社、三草、米田は、社小学校区の商業施設への移動が近隣都市よりも高く、生活圏が社中心区に止まっていると考えられる。

- 9) 自宅からの社市内各地点への最大想定バス運賃は、移動人数が多い（＝移動ニーズが高い）経路で、200円を下回る。現状、車で移動が問題なくできており、運行ニーズが低いことが理由と考えられる。

今後分析予定

表 社地区内各地点への最大想定バス運賃

		社地区											
		市役所周辺	加東警察署・県総合庁舎・やし の森公園周辺	マックスバリュ社店周辺	ボンマルシェ周辺	加東市民病院	社パーキングエリア周辺	兵庫教育大学	やしろ国際学習塾周辺	社児童館・平池公園周辺	松原メイフラワー病院周辺	社地域内の個人医院	社地域その他
居住小学校区	社小学校区	136	138	138	137	145	164	186	184	175	180	148	158
	福田小学校区	174	163	180	162	176	200	222	220	138	209	175	189
	米田小学校区	252	276	268	257	269	224	202	232	266	214	231	236
	三草小学校区	180	199	185	187	195	168	186	147	207	180	181	171
	鴨川小学校区	310	342	338	353	333	300	276	246	303	281	301	289
	滝野東小学校区	194	197	177	195	188	204	226	211	217	222	196	198
	滝野南小学校区	201	183	183	182	187	221	245	249	213	221	199	192
	東条東小学校区	316	322	314	315	318	299	288	309	314	297	296	299
	東条西小学校区	252	266	264	255	269	257	216	254	266	219	240	246

出典：加東市民の交通行動に関するアンケート集計報告書

利用者数との関連を分析予定

4.6.3 グループヒアリングの実施

- ・ 実施期間：平成 27 年 10 月～11 月
- ・ 方法：小学校区ごとに地域担当調整連絡員を通じて地区から意見聴取を実施

<主な意見>

(路線バスについて)

- ・ 1 日の運行便数を増やして欲しい。
- ・ バス停の整備（雨、夜間対策）をして欲しい。
- ・ 料金を一律にして欲しい。
- ・ 市立西脇病院への路線が欲しい。（滝野地域）
- ・ ハイウェイバスの更なる充実が必要。
- ・ 小野市や三田方面への路線が欲しい。（東条地域）
- ・ 小型のバスによる運行をしてはどうか。
- ・ 加東市民病院、イオン社店、市役所への直通ルートが欲しい。（東条地域）
- ・ 利用の少ない路線は見直しが必要ではないか。

(市町村運営有償運送について)

- ・ バス停の整備が必要。
- ・ 増便および運行日の見直しが必要。
- ・ 地域の運転手の確保が困難である。

(新たな地域公共交通の導入について)

- ・ コミュニティバスの導入をして欲しい。
- ・ 通院と買い物に対応した公共交通機関が必要。
- ・ 市内要所を循環するルートがあればよい。
- ・ 広域路線への接続を良くして欲しい。
- ・ ワゴンタイプの運行をしてはどうか。
- ・ スクールバスの空き時間の活用や一般客との混乗を検討しては。
- ・ デマンド型の運行を検討して欲しい。

※一方で利用者が多く見込めないことからコミバスの導入は慎重にとの意見も多くあり。

(福祉タクシー助成制度について)

- ・ 利用額を増額、対象者の拡充など制度の見直しをして欲しい。

(駐車場について)

- ・ ハイウェイバスのバス停近くの駐車場を増やして欲しい。
- ・ JR 駅付近の駐車場を再検討する必要があるのではないか。

(その他)

- ・ 既存路線の周知を図る必要がある。

5. 加東市地域公共交通の課題

加東市は道路網が整備されているため、渋滞も少なく、自家用車による移動については大きな問題はない。また、中国縦貫自動車道におけるハイウェイバスは大阪・神戸方面へ、鉄道および広域の路線バスは近隣市への通勤、通学に利用されている。

<課題の整理>

- ① 加東市では自家用車への依存が高く、公共交通の利用が少ない状況である。

平成 28 年 1 月に実施した交通行動調査においても、全体の約 70%が日常の移動手段が車であり、運転をしていない方も半数近くが家族等の運転する車で移動されていることから、移動手段を持たない方についても、自家用車への依存が高く、公共交通機関の利用が少ない状況である。

今後、自動車の運転ができなくなる高齢者の増加や高齢者が関連する事故の発生が懸念されるため、高齢者が公共交通を気軽に利用できる環境を整備する必要がある。

- ② 通勤・通学に利用される朝夕の時間帯に比べて、昼間の時間帯については鉄道および路線バスの便数は少なく、主にその利用者となる高齢者等は通院・買い物における移動手段が限られている。今後利用者が減少すれば、既存路線の維持確保が困難となり、路線の減便・廃止といった状況に陥る可能性がある。

既存路線の維持確保のためには、利用が多く見込まれる路線への再編と利用促進に関する対策が必要である。

- ③ 居住人口の少ない地区については、従来より公共交通が運行されていない地区が多く存在し、また、利用者の減少から路線バスが廃止された地区がある。また、公共交通機関がある地区においても、移動手段を持たない方にとっては、最寄りの駅、バス停までが遠いことで、利用に不便さを感じられている。

公共交通機関を有効に活用し、またそれに代わる交通手段の導入が必要である。

- ④ 鉄道、ハイウェイバスおよび路線バスは、加東市から市外への移動手段として利用されているが、便数、時間帯および乗り場までのアクセスが問題となっている。

利便性を向上させ、京阪神などの都市部も通勤圏とするためにも、交通の拠点となる箇所へのネットワークを形成することが必要です。

- ⑤ 市内 2 地区で取り組んでいる市町村運営有償運送については、年々利用者の増加がみられることから、今後も地域における貴重な移動手段として期待されている。しかしながら、運行業務に携わる地元市民の運転手の高齢化や担い手不足が問題となっている。運転手の確保について対策を講じ、持続可能な地域公共交通の維持に取り組んでいく必要がある。